

## 小林 憲弘

国立医薬品食品衛生研究所 生活衛生化学部 第三室 室長  
博士（工学）

〒210-9501 神奈川県川崎市川崎区殿町3-25-26  
TEL：044-270-6600

---

### 職歴

- 2004年4月～2008年3月：産業技術総合研究所 化学物質リスク管理研究センター 研究員
- 2008年4月～2010年12月：産業技術総合研究所 安全科学研究部門 研究員
- 2011年1月～2012年3月：国立医薬品食品衛生研究所 生活衛生化学部 第三室 研究員
- 2012年4月～2013年3月：国立医薬品食品衛生研究所 生活衛生化学部 第三室 主任研究官
- 2013年4月～現在：国立医薬品食品衛生研究所 生活衛生化学部 第三室 室長

### 学歴

- 1996年4月～2000年3月：上智大学 理工学部 化学科
- 2000年4月～2002年3月：横浜国立大学 工学研究科 物質工学専攻 博士課程前期
- 2002年4月～2004年3月：横浜国立大学大学院 環境情報学府 環境マネジメント専攻 博士課程後期

### 委員歴

- 2012年11月～2013年3月：環境省 利根川水系における取水障害に関する今後の措置に係る水質分析法検討調査 委員
- 2013年4月～2019年3月：公益社団法人 環境科学会 編集委員会 委員
- 2013年4月～2019年3月：兵庫県立健康生活科学研究所 研究アドバイザー
- 2013年4月～現在：厚生労働省 水道水質検査法検討会 委員
- 2013年4月～現在：厚生労働省 水道水質検査精度管理検討会 委員
- 2013年4月～現在：公益社団法人 日本水道協会 水質試験方法等調査専門委員会 委員（有機物部会長）
- 2014年4月～2014年10月：International Agency for Research on Cancer (IARC) IARC Monographs on the Evaluation of Carcinogenic Risks to Humans, Volume 111 "Some Nanomaterials and Some Fibres" Meeting member
- 2015年4月～2016年3月：厚生労働省 水道における微生物問題検討会 委員
- 2015年4月～2018年3月：公益社団法人 日本水道協会 水質基準検討準備会 委員
- 2015年3月～2019年3月：公益社団法人 環境科学会 表彰委員会 幹事
- 2015年4月～現在：厚生労働省 水質基準逐次改正検討会 委員

- 2015年4月～現在：環境省 環境測定分析検討会 統一精度管理調査部会 検討員
- 2016年1月～2017年3月：環境省 水環境におけるリスク管理に関する検討会 委員
- 2016年8月～2017年3月：一般社団法人 日本分析機器工業会 ガスクロマトグラフィー質量分析通則 JIS 改正原案作成委員会 委員
- 2016年8月～現在：公益社団法人 日本水環境学会 Journal of Water and Environment Technology (JWET) 部会員
- 2017年5月～現在：一般社団法人 日本環境化学会 評議員
- 2017年5月～現在：一般社団法人 日本環境化学会 水・土壌環境部会 副幹事
- 2017年6月～2020年3月：公益社団法人 日本水道協会 突発水質汚染の監視対策指針改訂委員会 委員
- 2019年3月～現在：兵庫県排出基準未設定化学物質評価検討委員会 委員
- 2019年3月～2023年3月：公益社団法人 環境科学会 編集委員会 幹事
- 2021年4月～2023年3月：公益社団法人 環境科学会 表彰委員会 委員
- 2022年6月～現在：一般社団法人 産業環境管理協会 JIS K 0102 工業用水・工場排水試験方法 第4部（有機物）原案作成分科会 委員
- 2023年3月～2025年3月：公益社団法人 環境科学会 編集査読担当理事
- 2023年4月～現在：独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 日本役局方原案検討委員会 医薬品添加物委員会 注射用水 WG 委員
- 2023年4月～現在：一般社団法人 全国給水衛生検査協会 参与
- 2023年5月～現在：一般財団法人 日本規格協会 JIS S3200-7 水道用器具—浸出性能試験方法 改正原案作成準備委員会 委員長
- 2024年11月～現在：環境省 中央環境審議会 水環境部会・土壌農薬部会 水道水質・衛生管理小委員会 専門委員
- 2025年3月～現在：公益社団法人 環境科学会 編集総括担当理事

## 受賞歴

- 2009年3月：独立行政法人 産業技術総合研究所 理事長賞  
「詳細リスク評価書の刊行」
- 2013年9月：公益社団法人 環境科学会 論文賞  
「小林憲弘，久保田領志，田原麻衣子，清水久美子，杉本直樹，西村哲治：水道水質管理目標設定項目の候補とされている農薬の GC/MS 一斉分析法の開発. 環境科学会誌, **25(5)**, 378–390 (2012)」.
- 2014年5月：海洋理工学会 論文賞  
「亭島博彦，江里口知己，小林憲弘，堀口文男：東京湾に生息する魚類中のコプラナーPCBに関する研究. 海洋理工学会誌, **18(1)**, 25–32 (2012)」
- 2016年9月：公益社団法人 環境科学会 奨励賞  
「微量有機化学物質によるヒト健康リスクの定量化に関する研究」

- 2018年9月：公益社団法人 環境科学会 優秀研究企画賞（2017年富士電機賞）  
「水道水質検査のための農薬 GC/MS スクリーニング分析データベースの構築と実試料への適用」
- 2019年9月：公益社団法人 環境科学会 論文賞  
「小林憲弘, 木下輝昭, 鈴木俊也, 高木総吉, 吉田仁, 望月映希, 岩間紀知, 古川浩司, 久保田領志, 五十嵐良明：水道水中のグルホシネート・グリホサート・AMPAのLC/MS/MS一斉分析法の妥当性評価. **29(3)**, 137-148 (2016)」.
- 2024年9月：公益社団法人 環境科学会 学術賞  
「水道水質評価における質量分析技術の研究およびその学術的普及」

## 競争的資金等

- 水道原水の突発的汚染事故発生時の監視体制の構築に関する研究  
厚生労働省 厚生労働科学研究費補助金（厚生労働科学特別研究事業）  
研究期間：2012年10月～2013年3月，研究代表者：五十嵐良明
- 水道水質検査における対象農薬リスト掲載農薬のうち標準検査法未設定の農薬類の分析法開発  
厚生労働省 厚生労働科学研究費補助金（厚生労働科学特別研究事業）  
研究期間：2013年12月～2014年3月，研究代表者：小林憲弘
- ナノマテリアル曝露による生体毒性の慢性移行及び遅発性に関わる評価手法の開発研究  
厚生労働省 厚生労働科学研究費補助金（化学物質リスク研究事業）  
研究期間：2012年4月～2015年3月，研究代表者：広瀬明彦
- 水道における水質リスク評価および管理に関する総合研究  
厚生労働省 厚生労働科学研究費補助金（健康安全・危機管理対策総合研究事業）  
研究期間：2013年4月～2016年3月，研究代表者：松井佳彦
- ナノマテリアル曝露による慢性及び遅発毒性評価手法の開発に関する研究  
厚生労働省 厚生労働科学研究費補助金（化学物質リスク研究事業）  
研究期間：2015年4月～2018年3月，研究代表者：広瀬明彦
- 環境水中農薬の動態予測シミュレーションとモニタリングに関する研究  
日本学術振興会 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）  
研究期間：2015年4月～2018年3月，研究代表者：小林憲弘
- 水道水質の評価及び管理に関する総合研究  
厚生労働省 厚生労働科学研究費補助金（健康安全・危機管理対策総合研究事業）  
研究期間：2016年4月～2019年3月，研究代表者：松井佳彦
- 構造活性相関手法に基づいたヒト用医薬品の環境影響評価手法の開発に関する研究  
日本医療研究開発機構（AMED） 医薬品等規制調和・評価研究事業

研究期間：2016年6月～2019年3月，研究代表者：広瀬明彦

- ナノマテリアル曝露による慢性影響の効率的評価手法開発に関する研究  
厚生労働省 厚生労働科学研究費補助金（化学物質リスク研究事業）  
研究期間：2018年4月～2021年3月，研究代表者：広瀬明彦
- 次世代医薬品の効率的実用化推進のための品質評価技術基盤の開発  
日本医療研究開発機構（AMED） 創薬基盤推進研究事業  
研究期間：2017年4月～2022年3月，研究代表者：合田幸広
- 化学物質等の検出状況を踏まえた水道水質管理のための総合研究  
厚生労働省 厚生労働科学研究費補助金（健康安全・危機管理対策総合研究事業）  
研究期間：2019年4月～2022年3月，研究代表者：松井佳彦
- ヒト用医薬品の環境影響評価のための環境影響試験の実施と構造活性相関手法を用いた予測システムの開発に関する研究  
日本医療研究開発機構（AMED） 医薬品等規制調和・評価研究事業  
研究期間：2019年4月～2022年3月，研究代表者：広瀬明彦
- 災害・事故における異常検知と影響予測手法の開発  
独立行政法人環境再生保全機構 環境研究総合推進費補助金  
研究期間：2018年4月～2023年3月，研究代表者：浅見真理
- ナノマテリアル吸入曝露影響評価のための効率的慢性試験法の開発に関する研究  
厚生労働省 厚生労働科学研究費補助金（化学物質リスク研究事業）  
研究期間：2021年4月～2024年3月，研究代表者：広瀬明彦
- 水道水及び原水における化学物質等の実態を踏まえた水質管理の向上に資する研究  
厚生労働省 厚生労働科学研究費補助金（健康安全・危機管理対策総合研究事業）  
研究期間：2022年4月～2024年3月，研究代表者：松井佳彦
- 統合的な試験と評価のアプローチによる新医薬品の環境リスク評価フレームワークの開発に関する研究  
日本医療研究開発機構（AMED） 医薬品等規制調和・評価研究事業  
研究期間：2022年8月～2025年3月，研究代表者：山田隆志
- 資機材等における新規・未規制材料に対応した安全性評価スキーム構築に係る研究  
厚生労働省 厚生労働科学研究費補助金（健康安全・危機管理対策総合研究事業）  
研究期間：2023年4月～2024年3月，研究代表者：増田貴則

## メディア報道

- 2013年2月1日：【インタビュー】体にさまざまな害を与えることが判明している鉛。日本国内の鉛の血中濃度は？健康 2013年3月号（主婦の友社）。

- 2013年12月6日：【インタビュー】健康への影響 専門家に聞く。北海道新聞 朝刊。
- 2014年2月24日：【インタビュー】妥当性評価ガイドラインQ&Aの要点と活用策 国立医薬品食品衛生研究所 生活衛生化学部第三室 小林憲弘室長に聞く（上）。日本水道新聞。
- 2014年2月27日：【インタビュー】妥当性評価ガイドラインQ&Aの要点と活用策 国立医薬品食品衛生研究所 生活衛生化学部第三室 小林憲弘室長に聞く（下）。日本水道新聞。
- 2016年9月17日：【TV出演】豊洲市場の地下のたまり水の検査結果について。テレビ朝日スーパーJチャンネル。
- 2018年7月1日：【インタビュー】水道水質検査法改正までの経緯と改正のポイント。水道公論 2018年7月号（日本水道新聞社）。
- 2018年7月23日：【インタビュー】解説 改正水道水質基準等・検査方法 改正経過とポイント。日本水道新聞。
- 2020年10月10日：【インタビュー】シリーズ 次代を担う衛生・環境工学者 No.47 国立医薬品食品衛生研究所 生活衛生化学部 第三室長 小林憲弘氏を訪ねて。月刊コア 2020年10月号（日本設備工業新聞社）。

## 研究業績目録

## A. 書籍

- [A-1] 小林憲弘, 内藤航, 中西準子: 詳細リスク評価書シリーズ 9 鉛. 丸善(株), 東京, 282pp., ISBN: 462107749X (2006).  
(第 9 章を除く全文を執筆)
- [A-2] 国立保健医療科学院: WHO 飲料水水質ガイドライン第四版 (日本語版). 604pp., ISBN: 978-4-903997-06-3 (2012).  
(「第 12 章 12.1」を翻訳)  
[https://www.niph.go.jp/soshiki/suido/WHO\\_GDWQ\\_4th\\_jp.html](https://www.niph.go.jp/soshiki/suido/WHO_GDWQ_4th_jp.html)
- [A-3] 高橋道人, 福島昭治編: 伊藤毒性病理学. 丸善(株), 東京, 512pp., ISBN: 978-4-621-08642-1 (2013).  
(「5.10 ナノマテリアル」を執筆)
- [A-4] International Agency for Research on Cancer (IARC): IARC Monographs on the Evaluation of Carcinogenic Risks to Humans, Volume 111 "Some Nanomaterials and Some Fibres". IARC, Lyon, France, 316pp., ISBN: 978-92-832-0149-6 (2017).  
(“4. Mechanistic and other relevant data”の一部を執筆)
- [A-5] 日本水道協会: 上水試験方法 2020 年版. (株)協友, 東京, 1680pp. ISBN: 978-4-909897-11-4 (2021).  
(「I. 資料・総説編, III. 有機物編」の一部を執筆)
- [A-6] 馬場健史, 松本雅記, 松田史生, 山本敦史編: 決定版 質量分析活用スタンダード～代謝物からタンパク質、食品・環境の分析まで質量分析のポテンシャルを活かしきる戦略とプロトコール. (株)羊土社, 東京, 363pp. ISBN: 978-4-7581-2264-1 (2023).  
(「実践編 III. 検査・材料・無機 2. 食品・環境の検査 ターゲット分析における分析方法の妥当性評価」を執筆)
- [A-7] 小林憲弘, 他: PFAS の規制動向と対応技術. (株)技術情報協会, 東京, 516pp. ISBN: 978-4-86798-027-9 (2024).  
(第 2 章 第 16 節 「水道水中 PFAS の分析」を執筆)  
[https://www.gijutu.co.jp/doc/b\\_2255.htm](https://www.gijutu.co.jp/doc/b_2255.htm)

## B. 査読付き論文

- [B-1] 小林憲弘, 益永茂樹, 中西準子: 河川水中ダイオキシン類の発生源と挙動の解析. 水環境学会誌, **26(10)**, 655–662 (2003).  
<http://doi.org/10.2965/jswe.26.655>
- [B-2] 小林憲弘, 益永茂樹, 中西準子: 東京湾流入河川におけるダイオキシン類の輸送量と発

- 生源. 水環境学会誌, **27(7)**, 465–472 (2004).  
<http://doi.org/10.2965/jswe.27.465>
- [B-3] **Norihiro Kobayashi**, Tomomi Eriguchi, Kisaburo Nakata, Shigeki Masunaga, Fumio Horiguchi, Junko Nakanishi: Application of a 3-D chemical fate prediction model (FATE3D) to predict dioxin concentrations in the Tokyo Bay. *Estuarine, Coastal and Shelf Science*, **70(4)**, 621–632 (2006).  
<http://doi.org/10.1016/j.ecss.2006.06.013>
- [B-4] **Norihiro Kobayashi**, Masato Naya, Shigehisa Endoh, Junko Maru, Kazuhiro Yamamoto, Junko Nakanishi: Comparative pulmonary toxicity study of nano-TiO<sub>2</sub> particles of different sizes and agglomerations in rats: Different short- and long-term post-instillation results. *Toxicology*, **264(1–2)**, 110–118 (2009).  
<http://doi.org/10.1016/j.tox.2009.08.002>
- [B-5] 江馬眞, **小林憲弘**, 納屋聖人, 花井莊輔, 中西準子: ナノサイズ二酸化チタンの遺伝毒性評価. 環境毒性学会誌, **12(2)**, 71–84 (2009).  
<http://doi.org/10.11403/jset.12.71>
- [B-6] 江里口知己, 市川哲也, 中田喜三郎, **小林憲弘**, 堀口文男: 海洋における有害化学物質生物蓄積モデルの開発研究-東京湾マアナゴモデルの開発-. 海洋理工学会誌, **15(2)**, 189–195 (2010).  
[http://jglobal.jst.go.jp/detail.php?JGLOBAL\\_ID=201002289270794010](http://jglobal.jst.go.jp/detail.php?JGLOBAL_ID=201002289270794010)
- [B-7] 江馬眞, **小林憲弘**, 納屋聖人, 花井莊輔, 中西準子: 二酸化チタンの発がん性評価. 環境毒性学会誌, **13(1)**, 15–26 (2010).  
<http://doi.org/10.11403/jset.13.15>
- [B-8] Yasuo Morimoto, Akira Ogami, Motoi Todoroki, Makoto Yamamoto, Masahiro Murakami, Masami Hirohashi, Takako Oyabu, Toshihiko Myojo, Ken-Ichiro Nishi, Chikara Kadoya, Sayumi Yamasaki, Hiroko Nagatomo, Katsuhide Fujita, Shigehisa Endoh, Kunio Uchida, Kazuhiro Yamamoto, **Norihiro Kobayashi**, Junko Nakanishi, Isamu Tanaka: Expression of inflammation-related cytokines following intratracheal instillation of nickel oxide nanoparticles. *Nanotoxicology*, **4(2)**, 161–176 (2010).  
<http://doi.org/10.3109/17435390903518479>
- [B-9] **Norihiro Kobayashi**, Masato Naya, Makoto Ema, Shigehisa Endoh, Junko Maru, Kohei Mizuno, Junko Nakanishi: Biological response and morphological assessment of individually dispersed multi-wall carbon nanotubes in the lung after intratracheal instillation in rats. *Toxicology*, **276(3)**, 143–153 (2010).  
<http://doi.org/10.1016/j.tox.2010.07.021>
- [B-10] Makoto Ema, **Norihiro Kobayashi**, Masato Naya, Sosuke Hanai, Junko Nakanishi: Reproductive and developmental toxicity studies of manufactured nanomaterials. *Reproductive Toxicology*, **30(3)**, 343–352 (2010).

- <http://doi.org/10.1016/j.reprotox.2010.06.002>
- [B-11] Yasuo Morimoto, **Norihiro Kobayashi**, Naohide Shinohara, Toshihiko Myojo, Isamu Tanaka, Junko Nakanishi: Hazard assessments of manufactured nanomaterials. *Journal of Occupational Health*, **52(6)**, 325–334 (2010).  
<http://doi.org/10.1539/joh.R10003>
- [B-12] 江馬眞, **小林憲弘**, 納屋聖人, 花井莊輔, 中西準子: 種々の暴露経路による二酸化チタンの体内分布及び毒性. 環境毒性学会誌, **13(2)**, 85–103 (2010).  
<http://doi.org/10.11403/jset.13.85>
- [B-13] 堀口文男, **小林憲弘**, 柳田圭悟, 江里口知己: 海域における有害化学物質生物蓄積モデル Windows®版の開発. 海洋理工学会誌, **16(2)**, 93–101 (2011).  
[http://jglobal.jst.go.jp/detail.php?JGLOBAL\\_ID=201102253585183895](http://jglobal.jst.go.jp/detail.php?JGLOBAL_ID=201102253585183895)
- [B-14] Moritaka Tamura, Masaharu Inada, Tetsuya Nakazato, Kazuhiro Yamamoto, Shigehisa Endo, Kunio Uchida, Masanori Horie, Hiroko Fukui, Hitoshi Iwahashi, **Norihiro Kobayashi**, Yasuo Morimoto, Hiroaki Tao: A determination method of pristine multiwall carbon nanotubes in rat lungs after intratracheal instillation exposure by combustive oxidation-nondispersive infrared analysis. *Talanta*, **84(3)**, 802–808 (2011).  
<http://doi.org/10.1016/j.talanta.2011.02.017>
- [B-15] 江馬眞, **小林憲弘**, 納屋聖人, 中西準子: フラーレン及びその誘導体の遺伝毒性評価. 環境毒性学会誌, **14(1)**, 69–80 (2011).  
<http://doi.org/10.11403/jset.14.69>
- [B-16] 江馬眞, **小林憲弘**, 納屋聖人, 中西準子: カーボンナノチューブの遺伝毒性評価. 環境毒性学会誌, **14(1)**, 81–97 (2011).  
<http://doi.org/10.11403/jset.14.81>
- [B-17] Masato Naya, **Norihiro Kobayashi**, Kohei Mizuno, Kyomu Matsumoto, Makoto Ema, Junko Nakanishi: Evaluation of the genotoxic potential of single-wall carbon nanotubes by using a battery of *in vitro* and *in vivo* genotoxicity assays. *Regulatory Toxicology and Pharmacology*, **61(2)**, 192–198 (2011).  
<http://doi.org/10.1016/j.yrtph.2011.07.008>
- [B-18] Takako Oyabu, Toshihiko Myojo, Yasuo Morimoto, Akira Ogami, Masami Hirohashi, Makoto Yamamoto, Motoi Todoroki, Yohei Mizuguchi, Masayoshi Hashiba, Byeong Woo Lee, Manabu Shimada, Wei-Ning Wang, Kunio Uchida, Shigehisa Endoh, **Norihiro Kobayashi**, Kazuhiro Yamamoto, Katsuhide Fujita, Kohei Mizuno, Masaharu Inada, Tetsuya Nakazato, Junko Nakanishi, Isamu Tanaka: Biopersistence of inhaled MWCNT in rat lungs for 4-week well-characterized exposure. *Inhalation Toxicology*, **23(13)**, 784–791 (2011).  
<http://doi.org/10.3109/08958378.2011.608096>

- [B-19] **Norihiro Kobayashi**, Masato Naya, Kohei Mizuno, Kazuhiro Yamamoto, Makoto Ema, Junko Nakanishi: Pulmonary and systemic responses of highly pure and well-dispersed single-wall carbon nanotubes after intratracheal instillation in rats. *Inhalation Toxicology*, **23(13)**, 814–828 (2011).  
<http://doi.org/10.3109/08958378.2011.614968>
- [B-20] Makoto Ema, Akitaka Matsuda, **Norihiro Kobayashi**, Masato Naya, Junko Nakanishi: Evaluation of dermal and eye irritation and skin sensitization due to carbon nanotubes. *Regulatory Toxicology and Pharmacology*, **61(3)**, 276–281 (2011).  
<http://doi.org/10.1016/j.yrtph.2011.08.007>
- [B-21] Masato Naya, **Norihiro Kobayashi**, Makoto Ema, Sawako Kasamoto, Masahito Fukumuro, Shigeaki Takami, Madoka Nakajima, Makoto Hayashi, Junko Nakanishi: *In vivo* genotoxicity study of titanium dioxide nanoparticles using comet assay following intratracheal instillation in rats. *Regulatory Toxicology and Pharmacology*, **62(1)**, 1–6 (2012).  
<http://doi.org/10.1016/j.yrtph.2011.12.002>
- [B-22] Makoto Ema, Jin Tanaka, **Norihiro Kobayashi**, Masato Naya, Shigehisa Endoh, Junko Maru, Masayo Hosoi, Miho Nagai, Madoka Nakajima, Makoto Hayashi, Junko Nakanishi: Genotoxicity evaluation of fullerene C<sub>60</sub> nanoparticles in a comet assay using lung cells of intratracheally instilled rats. *Regulatory Toxicology and Pharmacology*, **62(3)**, 419–424 (2012).  
<http://doi.org/10.1016/j.yrtph.2012.01.003>
- [B-23] 田原麻衣子, **小林憲弘**, 久保田領志, 塚本多矩, 杉本直樹, 西村哲治: 陰イオン存在下における水道水中のハロ酢酸類の LC/MS および LC/MS/MS 分析の定量精度の検証. 水道協会雑誌, **81(4)**, 20–27 (2012).  
[http://jglobal.jst.go.jp/detail.php?JGLOBAL\\_ID=201202217012298206](http://jglobal.jst.go.jp/detail.php?JGLOBAL_ID=201202217012298206)
- [B-24] Makoto Ema, Tadashi Imamura, Hiroshi Suzuki, **Norihiro Kobayashi**, Masato Naya, Junko Nakanishi: Evaluation of genotoxicity of multi-walled carbon nanotubes in a battery of *in vitro* and *in vivo* assays. *Regulatory Toxicology and Pharmacology*, **63(2)**, 188–195 (2012).  
<http://doi.org/10.1016/j.yrtph.2012.03.014>
- [B-25] **小林憲弘**, 杉本直樹, 久保田領志, 野本雅彦, 五十嵐良明: 利根川水系の浄水場におけるホルムアルデヒド水質汚染の原因物質の特定. 水道協会雑誌, **81(7)**, 63–68 (2012).  
[http://jglobal.jst.go.jp/detail.php?JGLOBAL\\_ID=201202276721001043](http://jglobal.jst.go.jp/detail.php?JGLOBAL_ID=201202276721001043)
- [B-26] Yasuo Morimoto, Masami Hirohashi, Akira Ogami, Takako Oyabu, Toshihiko Myojo, Motoi Todoroki, Makoto Yamamoto, Masayoshi Hashiba, Yohei Mizuguchi, Byeong-Woo Lee, Etsushi Kuroda, Manabu Shimada, Wei-Ning Wang, Kazuhiro Yamamoto, Katsuhide Fujita, Shigehisa Endoh, Kunio Uchida, **Norihiro Kobayashi**, Kohei Mizuno, Masaharu Inada, Hiroaki Tao, Tetsuya Nakazato, Junko Nakanishi, Isamu Tanaka: Pulmonary toxicity of well-dispersed multi-wall carbon nanotubes following inhalation and intratracheal instillation, *Nanotoxicology*, **6(6)**,

- 587–599 (2012).  
<http://doi.org/10.3109/17435390.2011.594912>
- [B-27] 亭島博彦, 江里口知己, **小林憲弘**, 堀口文男: 東京湾に生息する魚類中のコプラナーPCBに関する研究. 海洋理工学会誌, **18(1)**, 25–32 (2012).  
[http://jglobal.jst.go.jp/detail.php?JGLOBAL\\_ID=201202237511869142](http://jglobal.jst.go.jp/detail.php?JGLOBAL_ID=201202237511869142)
- [B-28] Yasuo Morimoto, Masami Hirohashi, Masanori Horie, Akira Ogami, Takako Oyabu, Toshihiko Myojo, Masayoshi Hashiba, Yohei Mizuguchi, Tatsunori Kambara, Byeong Woo Lee, Etsushi Kuroda, Kazuhiro Yamamoto, **Norihiro Kobayashi**, Shigehisa Endoh, Kunio Uchida, Tetsuya Nakazato, Katsuhide Fujita, Junko Nakanishi, Isamu Tanaka: Pulmonary toxicity of well-dispersed single-wall carbon nanotubes following intratracheal instillation. *Journal of Nano Research*, **18–19**, 9–25 (2012).  
<http://doi.org/10.4028/www.scientific.net/JNanoR.18-19.9>
- [B-29] **小林憲弘**, 久保田領志, 田原麻衣子, 清水久美子, 杉本直樹, 西村哲治: 水道水質管理目標設定項目の候補とされている農薬のGC/MS一斉分析法の開発. 環境科学会誌, **25(5)**, 378–390 (2012).  
<https://doi.org/10.11353/sesj.25.378>
- [B-30] Masato Naya, **Norihiro Kobayashi**, Shigehisa Endoh, Junko Maru, Kazumasa Honda, Makoto Ema, Jin Tanaka, Masahito Fukumuro, Kazushige Hasegawa, Madoka Nakajima, Makoto Hayashi, Junko Nakanishi: *In vivo* genotoxicity study of single-wall carbon nanotubes using comet assay following intratracheal instillation in rats. *Regulatory Toxicology and Pharmacology*, **64(1)**, 124–129 (2012).  
<http://doi.org/10.1016/j.yrtph.2012.05.020>
- [B-31] Yasuo Morimoto, Masami Hirohashi, **Norihiro Kobayashi**, Akira Ogami, Masanori Horie, Takako Oyabu, Toshihiko Myojo, Masayoshi Hashiba, Yohei Mizuguchi, Tatsunori Kambara, Byeong Woo Lee, Etsushi Kuroda, Manabu Shimada, Wei-Ning Wang, Kohei Mizuno, Kazuhiro Yamamoto, Katsuhide Fujita, Junko Nakanishi, Isamu Tanaka: Pulmonary toxicity of well-dispersed single-wall carbon nanotubes after inhalation. *Nanotoxicology*, **6(7)**, 766–775 (2012).  
<http://doi.org/10.3109/17435390.2011.620719>
- [B-32] Masanori Horie, Mayumi Stowe, Tatsunori Kambara, Byeong Woo Lee, Shigehisa Endoh, Junko Maru, Takako Oyabu, Toshihiko Myojo, Akira Ogami, Kunio Uchida, Kazuhiro Yamamoto, **Norihiro Kobayashi**, Etsushi Kuroda, Tetsuya Nakazato, Yasuo Morimoto: Pulmonary inflammation of well-dispersed multi-wall carbon nanotubes following intratracheal instillation: Toxicity by fiber of 1–5  $\mu\text{m}$  in length. *Materials*, **5(12)**, 2833–2849 (2012).  
<http://doi.org/10.3390/ma5122833>
- [B-33] 久保田領志, 田原麻衣子, **小林憲弘**, 清水久美子, 阿部晃文, 中町眞美, 灘重樹, 服部晋也, 丸岡強, 杉本直樹, 西村哲治: 固相抽出—誘導体化GC/MS法を用いたEDTAの

- 分析法の開発および水道原水・浄水・給水栓水中の存在実態. 水道協会雑誌, **82(2)**, 2–9 (2013).  
[http://jglobal.jst.go.jp/detail.php?JGLOBAL\\_ID=201302296422651455](http://jglobal.jst.go.jp/detail.php?JGLOBAL_ID=201302296422651455)
- [B-34] Yasuo Morimoto, Masanori Horie, **Norihiro Kobayashi**, Naohide Shinohara, Manabu Shimada: Inhalation Toxicity Assessment of Carbon-Based Nanoparticles. *Accounts of Chemical Research*, **46(3)**, 770–781 (2013).  
<http://doi.org/10.1021/ar200311b>
- [B-35] Makoto Ema, Akitaka Matsuda, **Norihiro Kobayashi**, Masato Naya, Junko Nakanishi: Dermal and ocular irritation and skin sensitization studies of fullerene C<sub>60</sub> nanoparticles. *Cutaneous and Ocular Toxicology*, **32(2)**, 128–134 (2013).  
<http://doi.org/10.3109/15569527.2012.727937>
- [B-36] **小林憲弘**, 久保田領志, 田原麻衣子, 杉本直樹, 木村謙治, 林広宣, 山田義隆, 小林利男, 舟洞健二, 三枝慎一郎, 古谷智仁, 杉本智美, 五十嵐良明: 固相抽出-GC/MS による水道水中の未規制農薬の一斉分析法の妥当性評価. 水道協会雑誌, **82(7)**, 2–12 (2013).  
[https://doi.org/10.34566/jwwa.82.7\\_2](https://doi.org/10.34566/jwwa.82.7_2)
- [B-37] Kumiko Shimizu, Reiji Kubota, **Norihiro Kobayashi**, Maiko Tahara, Naoki Sugimoto, Tetsuji Nishimura, Yoshiaki Ikarashi: Cytotoxic Effects of Hydroxylated Fullerenes in Three Types of Liver Cells. *Materials*, **6(7)**, 2713–2722 (2013).  
<http://doi.org/10.3390/ma6072713>
- [B-38] 久保田領志, **小林憲弘**, 田原麻衣子, 今村悠佑, 木村謙治, 小林利男, 齋藤信裕, 杉本智美, 林広宣, 古谷智仁: 固相抽出-誘導体化 GC/MS 法を用いた EDTA 検査法の妥当性評価. 水道協会雑誌, **82(8)**, 2–11 (2013).  
[https://jglobal.jst.go.jp/detail.php?JGLOBAL\\_ID=201302277147344224](https://jglobal.jst.go.jp/detail.php?JGLOBAL_ID=201302277147344224)
- [B-39] **小林憲弘**, 杉本直樹, 久保田領志, 野本雅彦, 五十嵐良明: ホルムアルデヒド水質汚染の原因物質の特定に至る経緯と水道水中の未規制物質の管理における今後の課題. 日本リスク研究学会誌, **23(2)**, 65–70 (2013).  
<https://doi.org/10.11447/sraj.23.65>
- [B-40] Makoto Ema, Tadashi Imamura, Hiroshi Suzuki, **Norihiro Kobayashi**, Masato Naya, Junko Nakanishi: Genotoxicity evaluation for single-walled carbon nanotubes in a battery of *in vitro* and *in vivo* assays. *Journal of Applied Toxicology*, **33(9)**, 933–939 (2013).  
<http://doi.org/10.1002/jat.2772>
- [B-41] Makoto Ema, Shoji Masumori, **Norihiro Kobayashi**, Masato Naya, Shigehisa Endoh, Junko Maru, Masayo Hosoi, Fuyumi Uno, Madoka Nakajima, Makoto Hayashi, Junko Nakanishi: *In vivo* comet assay of multi-walled carbon nanotubes using lung cells of rats intratracheally instilled. *Journal of Applied Toxicology*, **33(10)**, 1053–1060 (2013).  
<http://doi.org/10.1002/jat.2810>

- [B-42] Kumiko Shimizu, Tomoharu Sano, Reiji Kubota, **Norihiro Kobayashi**, Maiko Tahara, Tomoko Obama, Naoki Sugimoto, Tetsuji Nishimura, Yoshiaki Ikarashi: Effects of the amino acid constituents of Microcystin variants on cytotoxicity to primary cultured rat hepatocytes. *Toxins*, **6(1)**, 168–179 (2013).  
<http://doi.org/10.3390/toxins6010168>
- [B-43] **小林憲弘**, 久保田領志, 田原麻衣子, 杉本直樹, 塚本多矩, 五十嵐良明: 水道水中の農薬類の LC/MS/MS 一斉分析法の開発. 環境科学会誌, **27(1)**, 3–19 (2014).  
<https://doi.org/10.11353/sesj.27.3>
- [B-44] 田原麻衣子, 杉本直樹, **小林憲弘**, 穂山浩, 五十嵐良明: 追加農薬の標準品の供給調査および定量核磁気共鳴法を用いた純度測定. 水道協会雑誌, **83(3)**, 9–16 (2014).  
[http://jglobal.jst.go.jp/detail.php?JGLOBAL\\_ID=201402219555274720](http://jglobal.jst.go.jp/detail.php?JGLOBAL_ID=201402219555274720)
- [B-45] **小林憲弘**, 久保田領志, 高玲華, 安藤正典, 五十嵐良明: 液体クロマトグラフィータンデム質量分析 (LC/MS/MS) による水道水中農薬類の一斉分析法の妥当性評価. 水道協会雑誌, **83(4)**, 3–14 (2014).  
[https://doi.org/10.34566/jwwa.83.4\\_2](https://doi.org/10.34566/jwwa.83.4_2)
- [B-46] **小林憲弘**, 久保田領志, 木村謙治, 金田智, 茶木哲, 天満一倫, 田中美奈子, 三枝慎一郎, 小林利男, 舟洞健二, 齋藤信裕, 杉本智美, 古谷智仁, 小嶋和博, 平林達也, 五十嵐良明: 水道水中 11 農薬を対象とした固相抽出-GC/MS 一斉分析法の妥当性評価. 水道協会雑誌, **83(9)**, 11–22 (2014).  
[https://doi.org/10.34566/jwwa.83.9\\_11](https://doi.org/10.34566/jwwa.83.9_11)
- [B-47] **小林憲弘**, 久保田領志, 佐々木俊哉, 五十嵐良明: 水道水中のイミノクタジン・ジクワット・パラコートの LC/MS/MS 一斉分析法の開発. 環境科学会誌, **28(2)**, 117–125 (2015).  
<https://doi.org/10.11353/sesj.28.117>
- [B-48] 久保田領志, **小林憲弘**, 五十嵐良明: 固相抽出-液体クロマトグラフィー質量分析計によるハロアセトアミド類の分析法の開発及び水道水中の存在実態. 環境科学会誌, **28(2)**, 143–152 (2015).  
<http://doi.org/10.11353/sesj.28.143>
- [B-49] 久保田領志, **小林憲弘**, 齋藤信裕, 鈴木俊也, 小杉有希, 田中美奈子, 塚本多矩, 平林達也, 五十嵐良明: 固相抽出-液体クロマトグラフィー質量分析計による水道水中フェノール類の検査法の開発とその妥当性評価. 水道協会雑誌, **84(7)**, 2–15 (2015).  
[https://jglobal.jst.go.jp/detail?JGLOBAL\\_ID=201502215103176413](https://jglobal.jst.go.jp/detail?JGLOBAL_ID=201502215103176413)
- [B-50] Junko Nakanishi, Yasuo Morimoto, Isamu Ogura, **Norihiro Kobayashi**, Masato Naya, Makoto Ema, Shigehisa Endoh, Manabu Shimada, Akira Ogami, Toshihiko Myojyo, Takako Oyabu, Masashi Gamo, Atsuo Kishimoto, Takuya Igarashi, Sosuke Hanai: Risk Assessment of the Carbon Nanotube Group. *Risk Analysis*, **35(10)**, 1940–1956 (2015).  
<http://doi.org/10.1111/risa.12394>

- [B-51] 久保田領志, **小林憲弘**, 五十嵐良明: 水道水質検査精度管理のための統一試料調査に関する経年分析 (平成 17~22 年度): 無機物. 水道協会雑誌, **84(12)**, 15-22 (2015).  
[http://jglobal.jst.go.jp/detail?JGLOBAL\\_ID=201602206399576657](http://jglobal.jst.go.jp/detail?JGLOBAL_ID=201602206399576657)
- [B-52] **小林憲弘**, 久保田領志, 齋藤信裕, 木村謙治, 宮崎悦子, 平林達也, 水田裕進, 木村慎一, 宮本紫織, 大倉敏裕, 中村弘揮, 粕谷智浩, 古川浩司, 塚本多矩, 市川千種, 高原玲華, 林田寛司, 京野完, 佐久井徳広, 山本五秋, 齊藤香織, 五十嵐良明: 水道水中のイミノクタジン・ジクワット・パラコート LC/MS/MS 一斉分析法の妥当性評価. 環境科学会誌, **29(1)**, 3-16 (2016).  
<https://doi.org/10.11353/sesj.29.3>
- [B-53] 久保田領志, **小林憲弘**, 五十嵐良明: 水道水質検査精度管理のための統一試料調査に関する経年分析 (平成 17~22 年度): 有機物. 水道協会雑誌, **85(2)**, 9-15 (2016).  
[http://jglobal.jst.go.jp/detail?JGLOBAL\\_ID=201602203716436034](http://jglobal.jst.go.jp/detail?JGLOBAL_ID=201602203716436034)
- [B-54] Naohide Shinohara, Tetsuya Nakazato, Kumiko Ohkawa, Moritaka Tamura, **Norihiro Kobayashi**, Yasuo Morimoto, Takako Oyabu, Toshihiko Myojo, Manabu Shimada, Kazuhiro Yamamoto, Hiroaki Tao, Makoto Ema, Masato Naya, Junko Nakanishi: Long-term retention of pristine multi-walled carbon nanotubes in rat lungs after intratracheal instillation. *Journal of Applied Toxicology*, **36(4)**, 501-509 (2016).  
<http://doi.org/10.1002/jat.3271>
- [B-55] **小林憲弘**, 木下輝昭, 鈴木俊也, 高木総吉, 吉田仁, 望月映希, 小林浩, 辻清美, 上村仁, 植田紘行, 齋藤信裕, 岩間紀知, 粕谷智浩, 古川浩司, 塚本多矩, 市川千種, 久保田領志, 五十嵐良明: 水道水中のグルホシネート・グリホサート・AMPA の LC/MS/MS 一斉分析法の妥当性評価. 環境科学会誌, **29(3)**, 137-148 (2016).  
<https://doi.org/10.11353/sesj.29.137>
- [B-56] 森本泰夫, **小林憲弘**: 国際がん研究機関 (IARC) におけるカーボンナノチューブを含む幾つかの繊維状物質の発がん性評価. 日本衛生学雑誌, **71(3)**, 252-259 (2016).  
<http://doi.org/10.1265/jjh.71.252>
- [B-57] **小林憲弘**, 久保田領志, 水田裕進, 木村慎一, 木村謙治, 宮崎悦子, 植田紘行, 齋藤信裕, 加登優樹, 古川浩司, 粕谷智浩, 岩間紀知, 高原玲華, 林田寛司, 塚本多矩, 五十嵐良明: 水道水中のカルタップ・ピラクロニル・フェリムゾン LC/MS/MS 一斉分析法の開発と妥当性評価. 水道協会雑誌, **85(10)**, 7-21 (2016).  
[https://doi.org/10.34566/jwwa.85.10\\_7](https://doi.org/10.34566/jwwa.85.10_7)
- [B-58] **小林憲弘**, 鈴木俊也, 小杉有希, 菱木麻佑, 加登優樹, 金田智, 植田紘行, 河相暢幸, 北本靖子, 土屋かおり, 木村慎一, 古川浩司, 岩間紀知, 中村弘揮, 粕谷智浩, 堀池秀樹, 京野完, 高原玲華, 馬場紀幸, 佐藤信武, 久保田領志, 五十嵐良明: 液体クロマトグラフィーによる水道水中のホルムアルデヒドおよびアセトアルデヒド同時分析法の開発と妥当性評価. 水環境学会誌, **39(6)**, 211-224 (2016).

<https://doi.org/10.2965/jswe.39.211>

- [B-59] Eileen D Kuempel, Marie-Claude Jaurand, Peter Möller, Yasuo Morimoto, **Norihiro Kobayashi**, Kent E Pinkerton, Linda Sargent, Roel CH Vermulen, Bice Fubini, Agnes Kane: Evaluating the mechanistic evidence and key data gaps in assessing the potential carcinogenicity of carbon nanotubes and nanofibers in humans. *Critical Reviews in Toxicology*, **47(1)**, 1–58 (2017).  
<https://doi.org/10.1080/10408444.2016.1206061>
- [B-60] **Norihiro Kobayashi**, Hiroto Izumi, Yasuo Morimoto: Review of toxicity studies of carbon nanotubes. *Journal of Occupational Health*, **59(5)**, 394–407 (2017).  
<https://doi.org/10.1539/joh.17-0089-RA>
- [B-61] **小林憲弘**, 小坂浩司, 浅見真理, 中川慎也, 木下輝昭, 高木総吉, 中島孝江, 古川浩司, 中村弘揮, 工藤清惣, 粕谷智浩, 土屋かおり, 寺中郁夫, 若月紀代子, 加登優樹, 小関栄一郎, 井上智, 村上真一, 金田智, 関桂子, 北本靖子, 堀池秀樹, 米久保淳, 清水尚登, 高原玲華, 齊藤香織, 五十嵐良明: 液体クロマトグラフィータンデム質量分析による水道水中の臭素酸分析条件の検討と妥当性評価. *水環境学会誌*, **40(6)**, 223-233 (2017).  
<https://doi.org/10.2965/jswe.40.223>
- [B-62] **小林憲弘**, 土屋裕子, 堀池秀樹, 増田潤一, 五十嵐良明: 液体クロマトグラフィータンデム質量分析による水道水中の 141 農薬の一斉分析法の開発. *水環境学会誌*, **42(1)**, 13–25 (2019).  
<https://doi.org/10.2965/jswe.42.13>
- [B-63] **小林憲弘**, 宮本紫織, 佐藤学, 木下輝昭, 高木総吉, 岩間紀知, 粕谷智浩, 古川浩司, 堀池秀樹, 齊藤香織, 京野完, 高原玲華, 五十嵐良明: 液体クロマトグラフィータンデム質量分析による水道水中の 140 農薬の一斉分析法の妥当性評価. *水環境学会誌*, **42(6)**, 247–258 (2019).  
<https://doi.org/10.2965/jswe.42.247>
- [B-64] 久保田領志, 内野正, **小林憲弘**, 五十嵐良明: 水道水質検査精度管理のための統一試料調査に関する経年分析: 平成 23~29 年度. *水道協会雑誌*, **89(7)**, 2–14 (2020).  
[https://doi.org/10.34566/jwwa.89.7\\_2](https://doi.org/10.34566/jwwa.89.7_2)
- [B-65] **小林憲弘**, 土屋裕子, 五十嵐良明: 塩素処理による水道水中プロチオホスの分解とプロチオホスオキシソンの生成挙動. *水道協会雑誌*, **89(9)**, 2–11 (2020).  
[https://doi.org/10.34566/jwwa.89.9\\_2](https://doi.org/10.34566/jwwa.89.9_2)
- [B-66] **小林憲弘**, 土屋裕子, 高木総吉, 五十嵐良明: 水道水中農薬の GC/MS スクリーニング分析法の開発と実試料への適用. *環境科学会誌*, **33(5)**, 136–157 (2020).  
<https://doi.org/10.11353/sesj.33.136>
- [B-67] Yutaka Abe, **Norihiro Kobayashi**, Miku Yamaguchi, Motoh Mutsuga, Asako Ozaki, Eri Kishi, Kyoko Sato: Determination of formaldehyde and acetaldehyde levels in poly (ethylene

- terephthalate) (PET) bottled mineral water using a simple and rapid analytical method. *Food Chemistry*, **344**, 128708 (2021).  
<https://doi.org/10.1016/j.foodchem.2020.128708>
- [B-68] **小林憲弘**, 土屋裕子, 五十嵐良明: イプロジオンの水中での分解性と検査法の検討. 水道協会雑誌, **90(11)**, 11-22 (2021).  
[https://doi.org/10.34566/jwwa.90.11\\_11](https://doi.org/10.34566/jwwa.90.11_11)
- [B-69] **小林憲弘**, 高木総吉, 木下輝昭, 仲野富美, 古川浩司, 粕谷智浩, 松巾宗平, 寺中郁夫, 山本剛, 米久保淳, 田中誠也, 丹羽宏之, 会田祐司, 高原玲華, 齊藤香織, 五十嵐良明: 液体クロマトグラフィー質量分析による水道水中の陰イオン一斉分析法の検討と妥当性評価. 水環境学会誌, **45(2)**, 51-66 (2022).  
<https://doi.org/10.2965/jswe.45.51>
- [B-70] **小林憲弘**, 土屋裕子, 五十嵐良明: GC/MS ターゲットスクリーニング分析法による水道水中農薬の定量精度の評価. 環境科学会誌, **35(2)**, 34-48 (2022).  
<https://doi.org/10.11353/sesj.35.88>
- [B-71] Motoki Hojo, Ai Maeno, Yoshimitsu Sakamoto, Aya Ohnuki, Yukie Tada, Yukio Yamamoto, Kiyomi Ikushima, Ryota Inaba, Jin Suzuki, Yuhji Taquahashi, Satoshi Yokota, **Norihiro Kobayashi**, Makoto Ohnishi, Yuko Goto, Takamasa Numano, Hiroyuki Tsuda, David B. Alexander, Jun Kanno, Akihiko Hirose, Akiko Inomata, Dai Nakae: Two-year intermittent exposure of a multiwalled carbon nanotube by intratracheal instillation induces lung tumors and pleural mesotheliomas in F344 rats. *Particle and Fibre Toxicology*, **19**, 38 (2022).  
<https://doi.org/10.1186/s12989-022-00478-7>
- [B-72] Katsuyoshi Horibata, Hironao Takasawa, Motoki Hojo, Yuji Taquahashi, Miyuki Shigano, Satoshi Yokota, **Norihiro Kobayashi**, Kei-ichi Sugiyama, Masamitsu Honma, Shuichi Hamada: *In vivo* genotoxicity assessment of a multiwalled carbon nanotube in a mouse *ex vivo* culture. *Genes and Environment*, **44(1)**, 24 (2022).  
<https://doi.org/10.1186/s41021-022-00253-2>
- [B-73] **Norihiro Kobayashi**, Sokichi Takagi, Teruaki Kinoshita, Osamu Sakata, Fumi Nakano, Naoto Watanabe, Azumi Nomura, Nobuyuki Kawai, Toshiya Hiraiwa, Manabu Okumura, Koji Furukawa, Tomohiro Kasuya, Noritomo Iwama, Jun Yonekubo, Reika Takahara, Seiya Tanaka, Yuko Tsuchiya, Yoshiaki Ikarashi: Development and validation of an analytical method for simultaneous determination of perfluoroalkyl acids in drinking water by liquid chromatography/tandem mass spectrometry. *Journal of Water and Environment Technology*, **20(6)**, 219-237 (2022).  
<https://doi.org/10.2965/jwet.22-058>
- [B-74] **小林憲弘**, 土屋裕子, 高木総吉, 吉田仁, 大窪かおり, 北原健一, 坂本晃子, 木下輝昭, 仲野富美, 橋本博之, 古川浩司, 粕谷智浩, 岩間紀知, 平林達也, 小嶋隼, 林幸範, 古口健太郎, 五十嵐良明: 水道水中農薬の GC/MS ターゲットスクリーニング分析のデー

タ解析における誤差要因の分析. 環境化学, **33**, 26–40 (2023).

<https://doi.org/10.5985/jec.33.26>

- [B-75] **小林憲弘**, 土屋裕子, 木下輝昭, 高木総吉, 中嶋京介, 広木孝行, 平林達也, 藤井裕美, 栗原正憲, 関川慎也, 奥村学, 古口健太郎, 樋口雄一, 大瀧翔吾, 代龍之介, 古川浩司, 松巾宗平, 松澤悠, 高原玲華, 五十嵐良明: 液体クロマトグラフ質量分析計による水道水中のメチルオキシソンの分析法の検討と妥当性評価. 水道協会雑誌, **92(7)**, 5–17 (2023).  
[https://doi.org/10.34566/jwwa.92.7\\_5](https://doi.org/10.34566/jwwa.92.7_5)
- [B-76] **小林憲弘**: 水質事故迅速モニタリング手法の開発と普及に関する研究. 地球環境, **28(2)**, 171–178 (2023).  
[https://jglobal.jst.go.jp/detail?JGLOBAL\\_ID=202402244055824705](https://jglobal.jst.go.jp/detail?JGLOBAL_ID=202402244055824705)
- [B-77] **小林憲弘**, 土屋裕子, 石井一行, 馬場紀幸, 林田寛司: パージ・トラップ-ガスクロマトグラフィー質量分析による水道水中の揮発性有機化合物の分析精度に影響を与える要因の解析. 環境化学, **34**, 1–8 (2024).  
<https://doi.org/10.5985/jec.34.1>
- [B-78] 木下輝昭, 小田智子, 栗田翔, 山崎貴子, 猪又明子, 佐久井徳広, 野原健太, 中村李, 土屋裕子, **小林憲弘**: 水道水中農薬の GC/MS スクリーニング分析データベースの構築と定性・定量精度の検証. 環境科学会誌, **37(2)**, 53–63 (2024).  
<https://doi.org/10.11353/sesj.37.53>
- [B-79] 渡辺直人, 同免佳澄, 三浦晃一, 関川慎也, 荒井活人, 中井喬彦, 山田恵子, 長谷川哲也, 立石浩之, 木村美紀, 藤井裕美, 小坂浩司, **小林憲弘**: 有機物の水質検査に用いる採水容器としての樹脂容器の適用可能性の検討. 水道協会雑誌, **93(6)**, 13–21 (2024).

## C. 総説・解説等

- [C-1] **小林憲弘**: 東京湾流域におけるダイオキシン類の移動量と収支. 海洋と生物, **26(5)**, 410–417 (2004).  
[http://jglobal.jst.go.jp/detail.php?JGLOBAL\\_ID=200902276052217234](http://jglobal.jst.go.jp/detail.php?JGLOBAL_ID=200902276052217234)
- [C-2] **小林憲弘**: 環境中鉛の健康リスク評価—産総研 CRM における研究—. 鉱山, **60(9)**, 16–22 (2007).  
[http://jglobal.jst.go.jp/detail.php?JGLOBAL\\_ID=200902278378049741](http://jglobal.jst.go.jp/detail.php?JGLOBAL_ID=200902278378049741)
- [C-3] **小林憲弘**: ナノ材料のリスク評価 産総研の取り組みと NEDO プロジェクトの紹介. 空気清浄, **46(2)**, 106–113 (2008).  
[http://jglobal.jst.go.jp/detail.php?JGLOBAL\\_ID=200902261841819667](http://jglobal.jst.go.jp/detail.php?JGLOBAL_ID=200902261841819667)
- [C-4] **小林憲弘**: ナノ材料のリスク評価. ぶんせき, **405(9)**, 500–503 (2008).  
[http://jglobal.jst.go.jp/detail.php?JGLOBAL\\_ID=200902270608257453](http://jglobal.jst.go.jp/detail.php?JGLOBAL_ID=200902270608257453)

- [C-5] 小林憲弘：工業ナノ材料のリスク評価とリスク管理. 環境制御, **30**, 2-7 (2008).  
<https://ousar.lib.okayama-u.ac.jp/ja/14593>
- [C-6] 小林憲弘：産総研におけるナノ材料のリスク評価に関する取り組み. 触媒, **51(1)**, 51-56 (2009).  
[http://jglobal.jst.go.jp/detail.php?JGLOBAL\\_ID=200902204226851972](http://jglobal.jst.go.jp/detail.php?JGLOBAL_ID=200902204226851972)
- [C-7] 小倉勇, 小林憲弘, 岸本充生：工業ナノ材料のリスク評価とそれを支えるキャラクターゼーション技術. 計測と制御, **49(10)**, 677-682 (2010).  
[http://jglobal.jst.go.jp/detail.php?JGLOBAL\\_ID=201002283628267981](http://jglobal.jst.go.jp/detail.php?JGLOBAL_ID=201002283628267981)
- [C-8] 森本泰夫, 堀江祐範, 小林憲弘, 篠原直秀：工業用ナノマテリアルの生体影響とリスクアセスメント. 産業医学レビュー, **24(4)**, 229-252 (2012).  
[http://jglobal.jst.go.jp/detail.php?JGLOBAL\\_ID=201202212958546305](http://jglobal.jst.go.jp/detail.php?JGLOBAL_ID=201202212958546305)
- [C-9] 小林憲弘：ナノマテリアルの曝露による次世代への影響について考える. ファルマシア, **48**, 1191-1191 (2012).  
[https://doi.org/10.14894/faruawpsj.48.12\\_1191](https://doi.org/10.14894/faruawpsj.48.12_1191)
- [C-10] 小林憲弘：環境中鉛による一般人の健康リスク. 保健の科学, **55**, 17-22 (2013).  
[https://jglobal.jst.go.jp/detail.php?JGLOBAL\\_ID=201302297494366069](https://jglobal.jst.go.jp/detail.php?JGLOBAL_ID=201302297494366069)
- [C-11] Yann Grosse, Dana Loomis, Kathryn Z Guyton, Béatrice Lauby-Secretan, Fatiha El Ghissassi, Véronique Bouvard, Lamia Benbrahim-Tallaa, Neela Guha, Chiara Scoccianti, Heidi Mattock, Kurt Straif, **on behalf of the International Agency for Research on Cancer Monograph Working Group**: Carcinogenicity of fluoro-edenite, silicon carbide fibres and whiskers, and carbon nanotubes. *The Lancet Oncology*, **15(13)**, 1427-1428 (2014).  
[https://doi.org/10.1016/S1470-2045\(14\)71109-X](https://doi.org/10.1016/S1470-2045(14)71109-X)
- [C-12] 小林憲弘：水道水質検査とその検査方法. 水環境学会誌, **39(A)(2)**, 64-66 (2016).  
[https://jglobal.jst.go.jp/detail?JGLOBAL\\_ID=201602220537682563](https://jglobal.jst.go.jp/detail?JGLOBAL_ID=201602220537682563)
- [C-13] 高木総吉, 安達史恵, 吉田仁, 小林憲弘：水道水中テフリトリオンの液体クロマトグラフィー質量分析法の検討と妥当性評価. 平成 29 年度 大阪健康安全基盤研究所 研究年報, **1**, 67-72 (2018).  
[http://www.iph.osaka.jp/s004/060/reserch\\_annual\\_report-1\\_2017.pdf](http://www.iph.osaka.jp/s004/060/reserch_annual_report-1_2017.pdf)
- [C-14] 小林憲弘：LC/MS/MS を用いた水道水中農薬の一斉分析法の開発. 和光純薬時報, **86(2)**, 5-9 (2018).  
<https://labchem-wako.fujifilm.com/jp/journal/docs/jiho862.pdf>
- [C-15] 小林憲弘：水道水中の農薬分析法に関する研究動向. 水環境学会誌, **42(A)(11)**, 386-389 (2019).  
[https://jglobal.jst.go.jp/detail?JGLOBAL\\_ID=201902278593055949](https://jglobal.jst.go.jp/detail?JGLOBAL_ID=201902278593055949)

- [C-16] 小林憲弘：2020 年 4 月の水道水質基準と検査方法の改正について。環境と測定技術，**47(9)**, 17–24 (2020).  
[https://jglobal.jst.go.jp/detail?JGLOBAL\\_ID=202002290550754588](https://jglobal.jst.go.jp/detail?JGLOBAL_ID=202002290550754588)
- [C-17] 小林憲弘：水質事故迅速モニタリング手法の開発。環境と測定技術，**48(4)**, 5–13 (2021).  
[https://jglobal.jst.go.jp/detail?JGLOBAL\\_ID=202102279774418575](https://jglobal.jst.go.jp/detail?JGLOBAL_ID=202102279774418575)
- [C-18] 小林憲弘：水道水質検査で使用できる標準物質。計測と制御，**60(8)**, 595–598 (2021).  
<https://doi.org/10.11499/sicejl.60.595>
- [C-19] 小林憲弘：水道事業における水質検査のあり方の見直しと今後の課題。水環境学会誌，**45(A)(9)**, 316–320 (2022).  
[https://jglobal.jst.go.jp/detail?JGLOBAL\\_ID=202202234333499322](https://jglobal.jst.go.jp/detail?JGLOBAL_ID=202202234333499322)
- [C-20] 小林憲弘：水道水質検査における陰イオン界面活性剤（LAS）の LC-MS/MS 分析法の開発。和光純薬時報，**91(1)**, 2–5 (2023).  
<https://labchem-wako.fujifilm.com/jp/journal/docs/jiho911.pdf>
- [C-21] 小林憲弘, 土屋裕子, 五十嵐良明：ヒト用医薬品の全国モニタリングによる水環境中の存在実態の調査。医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス，**54(6)**, 508–516 (2023).  
[https://doi.org/10.51018/pmdrs.54.6\\_508](https://doi.org/10.51018/pmdrs.54.6_508)
- [C-22] 小林憲弘：水道水質基準の逐次改正。PHARM TECH JAPAN，**40(9)**, 125–126 (2024).  
<https://www.jiho.co.jp/shop/list/detail/tabid/272/pdid/92515/Default.aspx>
- [C-23] 小林憲弘：有機フッ素化合物（PFAS）の水質分析における課題と展望。Journal of the Mass Spectrometry Society of Japan，**73(1)**, 27–29 (2025).  
<https://doi.org/10.5702/massspec.24-026>

## D. 講演・講義

- [D-1] 小林憲弘：鉛のヒト健康リスク評価およびリスク管理に関する提言。平成 18 年度 産総研環境・エネルギーシンポジウムシリーズ 1 喫緊の資源・環境制約とリサイクル技術開発（2006.5.19 東京都千代田区）。
- [D-2] 小林憲弘：ナノ材料のリスク評価とリスク管理。岡山大学保健環境センター公開講演会 “ナノ”インパクト ナノ材料の拓く未来と環境リスク評価（2007.6.7 岡山県岡山市）。
- [D-3] 小林憲弘：環境中鉛の健康リスク評価—産総研 CRM における研究—。日本鉱業協会 環境・安全担当者会議（2007.9.19 東京都港区）。
- [D-4] 小林憲弘：ナノ材料のリスク評価と管理—産総研におけるナノリスク研究—。2008 年エアロゾルシンポジウム『ナノ材料の製造、計測、環境・健康に関するシンポジウム II』（2008.1.10 東京都目黒区）。
- [D-5] 小林憲弘, 納屋聖人, 遠藤茂寿, 山本和弘, 中西準子：様々なサイズのナノ粒子の *in vivo*

肺毒性比較試験, NEDO-産総研-OECD 合同国際シンポジウム (2008.4.23 東京都港区).

- [D-6] 小林憲弘: ナノ粒子のリスク評価—技術開発には避けて通れない壁—. 2008 年度 第 2 回 日本画像学会技術研究会トナー技術研究会 “ナノから応用分野まで、殻を破るかトナー技術” (2008.10.23 東京都港区).
- [D-7] 小林憲弘: 工業ナノ材料のリスク評価に関する取り組み. 第 27 回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会 (2009.4.15 東京都新宿区).
- [D-8] 小林憲弘: ナノ材料の有害性評価とリスク評価の最先端. NBCI 会員向け報告会「ナノ材料の安全性に関する国内外の最新動向」(2009.8.6 東京都千代田区).
- [D-9] 小林憲弘: ナノ材料の有害性評価の現状と課題. ナノテクセミナー2009～みんなで学ぼうリスク管理策～ (2009.9.25 東京都江東区).
- [D-10] 小林憲弘: 身の回りのリスクを評価する (化学物質、食品、放射能等を対象に). 東京理科大学大学院共通特別講義 (2011.6.16 東京都新宿区).
- [D-11] 小林憲弘: 水道水の安全性確保に必要な新規試験法の開発並びに妥当性評価に向けた連携体制構築に関する研究. 第 48 回全国衛生化学技術協議会年会 自由集会 環境・家庭用品部門 (2011.11.11 長野県長野市).
- [D-12] 小林憲弘: 水道水中の農薬類の試験法開発とその妥当性評価. 環境科学会 2012 年会 (2012.9.13 神奈川県横浜市).
- [D-13] 小林憲弘: 水道水質検査方法の開発とその妥当性評価—農薬類を例に—. 平成 25 年度水質検査精度管理研修会 (2013.5.10 千葉県千葉市).
- [D-14] 小林憲弘: 水道水質検査方法に関する最近の話題と今後の展望—農薬類の通知改正を例に—. 水質分析セミナー2013 (大阪会場) (2013.5.16 大阪府豊中市).
- [D-15] 小林憲弘: 水道水質検査方法に関する最近の話題と今後の展望—農薬類の通知改正を例に—. 水質分析セミナー2013 (東京会場) (2013.5.21 東京都千代田区).
- [D-16] 小林憲弘: 水質基準改正における最近の国の動向と検査手法に関する今後の展望について. 平成 25 年度兵庫県立健康生活科学研究所・研究アドバイザーによる講演会 (2013.5.28 兵庫県神戸市).
- [D-17] 小林憲弘: 水道水の安全性のはなし—利根川水系の水質汚染事故を例に—. 国立医薬品食品衛生研究所平成 25 年度一般公開—医薬品や食品等の品質確保, 安全性, 有効性を求めて— (2013.7.27 東京都世田谷区).
- [D-18] 小林憲弘: 水質汚染事故時の対応について—分析法の観点から—. 第 22 回環境化学討論会 自由集会 5「水源事故時の対応と水質モニタリング」(2013.7.31 東京都府中市).
- [D-19] 小林憲弘: 水道水中の農薬類の GC/MS および LC/MS/MS 一斉分析方法の開発. 環境科学会 2013 年会 (2013.9.4 静岡県静岡市).

- [D-20] 小林憲弘：農薬類の分類の見直しとその検査法について。平成 25 年度飲料水検査技術講習会（2013.9.4 千葉県千葉市）。
- [D-21] 小林憲弘：水道水質検査方法における妥当性評価ガイドラインについて。平成 25 年度専門研修「検査技術」（2013.9.26 東京都千代田区）。
- [D-22] 小林憲弘：農薬類の分類の見直しに伴う新たな検査法開発とその妥当性評価について。水道水質検査法セミナー「妥当性評価ガイドラインからの農薬類の検査法分析のポイント」（大阪会場）（2013.10.18 大阪府大阪市）。
- [D-23] 小林憲弘：農薬類の分類の見直しに伴う新たな検査法開発とその妥当性評価について。水道水質検査法セミナー「妥当性評価ガイドラインからの農薬類の検査法分析のポイント」（東京会場）（2013.11.1 東京都北区）。
- [D-24] 小林憲弘：水道水質検査方法の開発に関する最近の話題と今後の課題。第 50 回全国衛生化学技術協議会年会 部門別研究会 環境・家庭用品部門（2013.11.8 富山県富山市）。
- [D-25] 小林憲弘：水道水質管理における農薬類の分類見直しとその分析方法について。第 31 回農薬環境科学研究会（2013.11.22 滋賀県米原市）。
- [D-26] 小林憲弘：水道水質管理と検査方法に関する最近の動向。日本水環境学会関西支部企画～水道水中に存在する微量有機物質に関するセミナー～（2014.2.25 大阪府大阪市）。
- [D-27] 小林憲弘：水道水中の農薬類の GC/MS および LC/MS/MS 分析方法の開発。日本水環境学会 MS 分析技術基礎講習会～今さら聞けない基礎知識講習会～（2014.5.23 東京都新宿区）。
- [D-28] 小林憲弘：水道水の新規検査法開発 ～フェノール，農薬類を例に～。平成 26 年度 飲料水検査技術講習会（2014.9.3 千葉県千葉市）。
- [D-29] 小林憲弘：水道水の安全性確保の取組み。平成 26 年度兵庫県立健康生活科学研究所・研究アドバイザーによる講演会（2014.11.13 兵庫県神戸市）。
- [D-30] 小林憲弘：水道水質検査方法の改定に関する最新情報。第 51 回全国衛生化学技術協議会年会 部門別研究会 環境・家庭用品部門（2014.11.21 大分県別府市）。
- [D-31] 小林憲弘：水道水質検査の精度管理について。平成 26 年度「飲料水検査精度管理調査に関する研修会」（2015.3.12 東京都大田区）。
- [D-32] 小林憲弘：平成 27 年 4 月に改正された水道水質検査方法について。水道水質基準の動向と水道水質検査法セミナー（東京会場）（2015.5.13 東京都北区）。
- [D-33] 小林憲弘：平成 27 年 4 月に改正された水道水質検査方法について。水道水質基準の動向と水道水質検査法セミナー（大阪会場）（2015.5.15 大阪府大阪市）。
- [D-34] 小林憲弘：水道水質基準および検査法の最新動向。水道水質分析・環境分析セミナー2015（2015.6.30 東京都大田区）。

- [D-35] 小林憲弘：水道水質検査を取り巻く現状. NMIJ 標準物質セミナー2015：健康を支える水の分析と標準物質（2015.9.3 千葉県千葉市）.
- [D-36] 小林憲弘：水道法と計量標準との関わり. 平成 27 年度第 1 回国際計量研究連絡委員会（2015.9.14 東京都千代田区）.
- [D-37] 小林憲弘：水道水質検査の最新動向と今後のあり方について. 平成 27 年度兵庫県立健康生活科学研究所・研究アドバイザーによる講演会（2015.11.26 兵庫県神戸市）.
- [D-38] 小林憲弘：水道水質管理および検査法の最新動向. 第 52 回全国衛生化学技術協議会年会 部門別研究会 環境・家庭用品部門（2015.12.4 静岡県静岡市）.
- [D-39] 小林憲弘：化学物質による飲料水の水質異常への対応. 第 29 回公衆衛生情報研究協議会研究会シンポジウム：飲料水の危機事案に対する関係機関の連携（2016.1.28 埼玉県和光市）.
- [D-40] 小林憲弘：水道水質検査法における最新の情報と今後の動向. 平成 27 年度地方衛生研究所全国協議会衛生理化学分野研修会（2016.2.10 東京都世田谷区）.
- [D-41] 小林憲弘：水道水質検査の精度管理について - 検査精度向上のポイント - . 平成 27 年度 飲料水検査精度管理調査に関する研修会（2016.3.11 東京都大田区）.
- [D-42] 小林憲弘：水質規制の最新動向と検査法のポイント. 水質分析セミナー2016（京都会場）（2016.5.10 京都府京都市）.
- [D-43] 小林憲弘：水質規制の最新動向と検査法のポイント. 水質分析セミナー2016（東京会場）（2016.5.13 東京都千代田区）.
- [D-44] 小林憲弘：水質規制の最新動向と検査法のポイント. 水質分析セミナー2016（福岡会場）（2016.5.24 福岡県福岡市）.
- [D-45] 小林憲弘：水質規制の最新動向と検査法のポイント. 水質分析セミナー2016（名古屋会場）（2016.6.1 愛知県名古屋市）.
- [D-46] 小林憲弘：水質規制の最新動向と検査法のポイント. 水質分析セミナー2016（広島会場）（2016.6.16 広島県広島市）.
- [D-47] 小林憲弘：水道水質検査の最新情報と今後の動向. 水道水質・環境分析セミナー2016（2016.6.27 東京都港区）.
- [D-48] 小林憲弘：水道水質検査における MS の活用. 日本水環境学会 MS 分析技術基礎講習会 ～今さら聞けない基礎知識講習会～in 関西（2016.6.29 大阪市北区）.
- [D-49] 小林憲弘：水道水質検査における MS の活用. 日本水環境学会 MS 分析技術基礎講習会 ～今さら聞けない基礎知識講習会～in 九州沖縄（2016.7.22 福岡県北九州市）.
- [D-50] 小林憲弘：水道水質検査の最新情報. 大阪府水道水質検査外部精度管理結果報告会

(2016.7.27 大阪府大阪市).

- [D-51] 小林憲弘：ナノ材料のリスク評価の国際動向. 第 23 回日本免疫毒性学会学術年会市民公開講座 (2016.9.5 福岡県北九州市).
- [D-52] 小林憲弘：水道水質検査の最新情報－妥当性評価ガイドラインの改訂方針と新規検査法の開発状況－. 平成 28 年度飲料水検査技術研修会 (2016.9.8 千葉県千葉市).
- [D-53] 小林憲弘：微量有機化学物質によるヒト健康リスクの定量化に関する研究. 環境科学会 2016 年会 (2016.9.9 神奈川県横浜市).
- [D-54] 小林憲弘：水道水質検査の最新情報－新規検査法の開発と妥当性評価ガイドラインの改訂について－. 平成 28 年度兵庫県立健康生活科学研究所・研究アドバイザーによる講演会 (2016.9.21 兵庫県神戸市).
- [D-55] 小林憲弘：水道水質検査方法の改訂に関する最新情報. 第 53 回全国衛生化学技術協議会年会 部門別研究会 環境・家庭用品部門 (2016.11.18 青森県青森市).
- [D-56] 小林憲弘：機器分析～理論 (IC・原子吸光・ICP・ICP/MS) ～. 平成 28 年度 水道技術者専門別研修会 (水質管理部門) (2017.1.25 埼玉県川口市).
- [D-57] 小林憲弘：機器分析～理論 (GC・GC/MS・HPLC・LC/MS) ～. 平成 28 年度 水道技術者専門別研修会 (水質管理部門) (2017.1.25 埼玉県川口市).
- [D-58] 小林憲弘：平成 29 年度水道水質検査精度管理のための統一試料調査について. 水道水質検査精度管理に関する研修会 (2017.2.24 東京都千代田区).
- [D-59] 小林憲弘：水道水質検査に関する最新の話. 平成 28 年度 飲料水検査精度管理調査に関する研修会 (2017.3.1 東京都大田区).
- [D-60] 小林憲弘：水道水質検査の最新動向～検査方法告示と妥当性評価ガイドラインの改訂について～. 水道水質・環境分析セミナー2017 (2017.4.26 東京都千代田区).
- [D-61] 小林憲弘：水道水質検査方法の改訂のポイントと今後の改訂方針. 水質分析セミナー 2017 (京都会場) (2017.5.16 京都府京都市).
- [D-62] 小林憲弘：水道水質検査方法の改訂のポイントと今後の改訂方針. 水質分析セミナー 2017 (名古屋会場) (2017.5.18 愛知県名古屋市).
- [D-63] 小林憲弘：水道水質検査に用いる検量線の妥当性評価について. 平成 29 年度水質検査精度管理研修会 (2017.5.19 千葉県千葉市).
- [D-64] 小林憲弘：水道水質検査方法の改訂のポイントと今後の改訂方針. 水質分析セミナー 2017 (東京会場) (2017.5.24 東京都千代田区).
- [D-65] 小林憲弘：水質検査の現状の課題と将来のあり方について考える. 第 26 回環境化学討論会 自由集会「水質検査の現状の課題と将来のあり方について考える」(2017.6.7 静岡

県静岡市).

- [D-66] 小林憲弘: 水道水質検査の最新情報ー平成29年度の改正内容ー. 平成29年度飲料水検査技術研修会 (2017.9.7 千葉県千葉市).
- [D-67] 小林憲弘: 水道水質検査におけるスクリーニング分析手法の開発と適用. 平成29年度兵庫県立健康生活科学研究所・研究アドバイザーによる講演会 (2017.10.20 兵庫県神戸市).
- [D-68] 小林憲弘: 厚生労働省の精度管理調査の現状と課題. 第54回全国衛生化学技術協議会 年会 部門別研究会 環境・家庭用品部門 (2017.11.22 奈良県奈良市).
- [D-69] 小林憲弘: 水質異常への対応に関する考え方と検査方法の整備について. 相模川・酒匂水質協議会 平成29年度講演会 (2018.1.12 神奈川県横浜市).
- [D-70] 小林憲弘: 水道水質検査の最新情報. 平成29年度 (第16回) 広島県水質問題情報交換会 (2018.2.9 広島県福山市).
- [D-71] 小林憲弘: 平成30年度厚生労働省精度管理調査について. 水道水質検査精度管理に関する研修会 (2018.2.20 東京都千代田区).
- [D-72] 小林憲弘: LC/MS を用いた新規分析法および妥当性評価ガイドランの改定. 平成29年度 神奈川県水道水質検査機関技術研修会 (2018.2.28 神奈川県横浜市).
- [D-73] 小林憲弘: 水道水質検査方法と精度管理に関する最新の話題. 平成29年度 飲料水検査精度管理調査に関する研修会 (2018.3.2 東京都大田区).
- [D-74] 小林憲弘: 水道水質基準と検査方法の改正について. 水道水質基準の動向と水道水質検査法セミナー2018 (福岡会場) (2018.4.13 福岡県福岡市).
- [D-75] 小林憲弘: 妥当性評価ガイドラインの改定について. 水道水質基準の動向と水道水質検査法セミナー2018 (福岡会場) (2018.4.13 福岡県福岡市).
- [D-76] 小林憲弘: 水道水質基準と検査方法の改正について. 水道水質基準の動向と水道水質検査法セミナー2018 (大阪会場) (2018.4.18 大阪府大阪市).
- [D-77] 小林憲弘: 妥当性評価ガイドラインの改定について. 水道水質基準の動向と水道水質検査法セミナー2018 (大阪会場) (2018.4.18 大阪府大阪市).
- [D-78] 小林憲弘: 水道水質検査方法の改正と妥当性評価ガイドラインの改定. 水道水質・環境分析セミナー2018 (2018.4.20 東京都千代田区).
- [D-79] 小林憲弘: 水道水質基準と検査方法の改正について. 水道水質基準の動向と水道水質検査法セミナー2018 (大宮会場) (2018.4.25 埼玉県さいたま市).
- [D-80] 小林憲弘: 妥当性評価ガイドラインの改定について. 水道水質基準の動向と水道水質検査法セミナー2018 (大宮会場) (2018.4.25 埼玉県さいたま市).

- [D-81] 小林憲弘：水道水質検査方法の改正ポイントおよび妥当性評価ガイドラインの改定内容。水道水質分析セミナー2018（東京会場）（2018.4.26 東京都品川区）。
- [D-82] 小林憲弘：水道水質検査方法の改正ポイントおよび妥当性評価ガイドラインの改定内容。水道水質分析セミナー2018（大阪会場）（2018.5.9 大阪府大阪市）。
- [D-83] 小林憲弘：水道水の検査について。市民公開講座：「安全な水道水をめざして－水質基準に関する研究の最前線」（2018.5.12 東京都千代田区）。
- [D-84] 小林憲弘：質量分析を用いた水道水質検査方法の開発。日本質量分析学会・日本プロテオーム学会 2018 年合同大会 セッション「環境分析における質量分析の利用と期待」（2018.5.17 大阪府吹田市）。
- [D-85] 小林憲弘：水質検査の現状の課題と最新の検討状況。第 27 回環境化学討論会 自由集会「水質検査の将来のあり方について考える（その 2）」（2018.5.23 沖縄県那覇市）。
- [D-86] Norihiro Kobayashi, Yoshiaki Ikarashi: Detection and kinetics of human medicine in the aquatic environment. 第 45 回日本毒性学会学術年会 シンポジウム「ヒト医薬品環境影響評価の新展開」（2018.7.19 大阪府大阪市）。
- [D-87] 小林憲弘：水道水質検査方法の改正ポイントおよび妥当性評価ガイドラインの改定内容。水道水質分析セミナー2018（名古屋会場）（2018.7.26 愛知県名古屋市）。
- [D-88] 小林憲弘：水道水質基準と検査方法の改正に関する最新情報。平成 30 年度兵庫県立健康生活科学研究所・研究アドバイザーによる講演会（2018.8.31 兵庫県加古川市）。
- [D-89] 小林憲弘：水道水質検査方法の改正に関する最新情報。平成 30 年度飲料水検査技術研修会（2018.9.6 千葉県千葉市）。
- [D-90] 小林憲弘：水道水質検査のための GC/MS スクリーニング分析法の開発と適用。環境科学学会 2018 年会 シンポジウム「スクリーニング分析法を用いた水道水質検査」（2018.9.11 東京都北区）。
- [D-91] 小林憲弘：水道水質検査方法の精度管理について。平成 30 年度水道水質検査技術研修会（2018.10.18 岩手県盛岡市）。
- [D-92] 小林憲弘：水道水質検査方法の妥当性評価ガイドラインの改定について。平成 30 年度水質検査に関する研修会（2018.10.19 埼玉県さいたま市）。
- [D-93] 小林憲弘：水道水質基準と検査方法に関する最新情報。第 55 回全国衛生化学技術協議会年会 部門別研究会 環境・家庭用品部門（2018.11.30 神奈川県横浜市）。
- [D-94] 小林憲弘：機器分析～理論（IC・原子吸光・ICP・ICP/MS）～。平成 30 年度 水道技術者専門別研修会（水質管理部門）（2019.1.23 埼玉県川口市）。
- [D-95] 小林憲弘：機器分析～理論（GC・GC/MS・HPLC・LC/MS）～。平成 30 年度 水道技術者専門別研修会（水質管理部門）（2019.1.23 埼玉県川口市）。

- [D-96] 小林憲弘：平成 31（2019）年度厚生労働省精度管理調査について。水道水質検査精度管理に関する研修会（2019.2.27 東京都千代田区）。
- [D-97] 小林憲弘：水道水質検査方法と精度管理に関する最新の話。平成 30 年度 飲料水検査精度管理調査に関する研修会（2019.3.5 東京都大田区）。
- [D-98] 小林憲弘：水質管理・水質異常での応用例 2。新しい水質分析に関するワークショップ～水道への展開～（2019.3.22 東京都千代田区）。
- [D-99] 小林憲弘：水道水質検査方法はこれからどこに向かうのか～近年の改正のまとめと今後の展望～。水道水質・環境分析セミナー2019（2019.4.23 東京都千代田区）。
- [D-100] 小林憲弘：水道水質検査方法の近年の改正と今後の展望。平成 31 年度水質検査精度管理研修会（2019.5.21 千葉県千葉市）。
- [D-101] 小林憲弘：水道水質検査方法の改正に関する最新情報（2020 年 4 月の改正）。令和元年度飲料水検査技術研修会（2019.9.4 千葉県千葉市）。
- [D-102] 小林憲弘：水道水質検査における質量分析の活用。環境科学会 2019 年会シンポジウム「環境研究における質量分析の役割と課題」（2019.9.13 愛知県名古屋市）。
- [D-103] 小林憲弘：水道水中のグルホシネート・グリホサート・AMPA の LC/MS/MS 一斉分析法の妥当性評価。環境科学会 2019 年会シンポジウム「より迅速・簡便な水質検査法の開発」（2019.9.14 愛知県名古屋市）。
- [D-104] 小林憲弘, 土屋裕子：水道水中農薬の GC/MS ターゲットスクリーニング分析法の開発。統計数理研究所共同研究「令和元年度 統計学的アプローチによる問題解決のための環境化学分析の最適化・高度化に関する研究集会」（2019.10.11 東京都立川市）。
- [D-105] 小林憲弘：2020 年の水道水質基準と検査方法の改正予定。第 56 回全国衛生化学技術協議会年会 部門別研究会 環境・家庭用品部門（2019.12.6 広島県広島市）。
- [D-106] 小林憲弘：令和 2 年度厚生労働省精度管理調査について。水道水質検査精度管理に関する研修会（2020.2.28 東京都港区）。
- [D-107] 小林憲弘：2020 年の水道水質基準と検査方法の改正について。水道水質・環境分析セミナー2020（2020.4.23 オンライン）。
- [D-108] 小林憲弘：水道水質検査方法の妥当性評価。フォーラム 2020：衛生薬学・環境トキシコロジー（2020.9.5 オンライン）。
- [D-109] 小林憲弘：水質事故迅速モニタリング手法の開発。第 79 回日本公衆衛生学会総会 2020 シンポジウム C2-4 災害・事故時の化学物質のリスク評価・管理 -河川や大気のリスクの見える化-（2020.10.22 オンライン）。
- [D-110] 小林憲弘：水道水質検査方法に関する最新情報。令和 2 年度 全国飲料水検査研究発表会（2020.11.30 東京都大田区）。

- [D-111] 小林憲弘：水道水の安全性評価と検査の最前線. 静岡県立大学【第6回】環境科学専攻月例セミナー (2020.12.9 オンライン).
- [D-112] 小林憲弘：機器分析～理論 (IC・原子吸光・ICP・ICP/MS) ～. 令和2年度 水道技術者専門別研修会 (水質管理部門) (2021.1.22 埼玉県川口市).
- [D-113] 小林憲弘：機器分析～理論 (GC・GC/MS・HPLC・LC/MS) ～. 令和2年度 水道技術者専門別研修会 (水質管理部門) (2021.1.22 埼玉県川口市).
- [D-114] 小林憲弘, 土屋裕子：水道水中農薬の GC/MS スクリーニング分析法のバリデーション試験. 統計数理研究所共同研究「令和2年度 情報科学による環境化学分野の問題解決と新展開に関する研究集会」 (2021.2.15 オンライン).
- [D-115] 小林憲弘：令和3年度厚生労働省精度管理調査について. 水道水質検査精度管理に関する研修会 (2021.3.19 オンライン).
- [D-116] 小林憲弘：水道水質検査方法と精度管理に関する最新の話. 令和2年度 飲料水検査精度管理調査に関する研修会 (2021.4.12 東京都港区).
- [D-117] 小林憲弘：水道水質検査の最新情報：有機フッ素化合物・農薬・陰イオン界面活性剤. 水道水質・環境分析ウェビナー2021 (2021.4.20 オンライン).
- [D-118] 小林憲弘：水道水質検査の基礎知識：標準検査方法・妥当性評価ガイドライン・精度管理. 水道水質・環境分析ウェビナー2021 (2021.4.21 オンライン).
- [D-119] 小林憲弘：水道水質基準の改正に伴う検査方法の改正について. 環境測定セミナー：最近の水分析法の動向 (2021.6.25 オンライン).
- [D-120] 小林憲弘：迅速分析に関する取り組み. 令和3年度環境研究総合推進費 S17 セミナー「化学物質事故等に備えた化学物質分析データベースに関するセミナー」 (2021.9.2 オンライン).
- [D-121] 小林憲弘：水道水質基準の改正について. 第一回ブロック会議 (関東甲信越ブロック) (2021.9.9 オンライン).
- [D-122] 小林憲弘：有機フッ素化合物の水道水質検査方法について. 2021 (令和3) 年度第1回 極微量物質研究会 (UTA 研) セミナー — 有機フッ素化合物セミナー — (2021.9.17 オンライン).
- [D-123] 小林憲弘：有機フッ素化合物 (PFAS) の国内外の規制状況とバリデーション試験. 令和3年度飲料水検査技術研修会 (2022.2.7 オンライン).
- [D-124] 小林憲弘：水道水質検査方法と精度管理に関する最新の話. 令和3年度 飲料水検査精度管理調査に関する研修会 (2022.3.4 東京都港区).
- [D-125] 小林憲弘：令和4年度の厚生労働省精度管理調査について (実施細則). 令和3年度水道水質検査精度管理に関する研修会 (2022.3.11 オンライン).

- [D-126] 小林憲弘：水道水質検査の最新情報：告示法・通知法の改正と今後の展望。水道水質分析ウェビナー2022（2022.4.14 オンライン）。
- [D-127] 小林憲弘，内野正，五十嵐良明：ヒト用医薬品の環境モニタリングおよび環境動態予測手法の構築。第 49 回日本毒性学会学術年会シンポジウム「ヒト用医薬品の環境リスク評価研究の進展と将来展望」（2022.7.2 北海道札幌市）。
- [D-128] 小林憲弘：水道水質検査への水素・窒素キャリアーガスの適用。第 59 回全国衛生化学技術協議会年会 部門別研究会 環境・家庭用品部門（2022.11.1 神奈川県川崎市）。
- [D-129] 小林憲弘：水道水質検査におけるヘリウム代替キャリアーガスの使用に関する告示法の改正について。令和 4 年度飲料水検査技術研修会（2023.2.22 オンライン）。
- [D-130] 小林憲弘：有機フッ素化合物（PFAS）の水道水質管理の現状とその分析法について。令和 4 年度一般社団法人日本環境化学会関西地区部会講演会（2023.2.24 大阪府大阪市）。
- [D-131] 小林憲弘：水質事故時の迅速分析手法の開発と連携体制の構築。災害・事故に伴う化学物質リスクへの対処をどうするか？環境研究総合推進費 戦略的研究開発課題 S-17「災害・事故に起因する化学物質リスクの評価・管理手法の体系的構築に関する研究」予定成果講演会（2023.2.28 東京都港区）。
- [D-132] 小林憲弘：水道水質検査方法と精度管理に関する最近の話題。令和 4 年度 飲料水検査精度管理調査に関する研修会（2023.3.6 東京都大田区）。
- [D-133] 小林憲弘：令和 5 年度の厚生労働省精度管理調査について（実施細則）。令和 4 年度水道水質検査精度管理に関する研修会（2023.3.10 オンライン）。
- [D-134] 小林憲弘，土屋裕子，五十嵐良明：水道水質検査方法におけるヘリウムガス供給問題への対応。日本薬学会第 143 年会 環境・衛生部会衛生試験法シンポジウム：水環境における化学物質分析の最新動向（2023.3.27 北海道札幌市）。
- [D-135] 小林憲弘：水道水質検査の最新情報：告示法・通知法の改正と今後の展望。水道水質分析ウェビナー2023（2023.4.25 東京都千代田区）。
- [D-136] 小林憲弘：水道水質検査の最前線。水道水質分析セミナー2023（2023.5.17 神奈川県川崎市）。
- [D-137] 小林憲弘：水道水質検査の最前線。水道水質分析セミナー2023（2023.5.24 京都府京都市）。
- [D-138] 小林憲弘：水道水質検査におけるスクリーニング分析法の実運用化に向けた取組み。環境科学会 2023 年会シンポジウム「水道水質検査におけるスクリーニング分析法の実運用化の現状と課題」（2023.9.8 兵庫県神戸市）。
- [D-139] 小林憲弘：水道水質基準と検査方法に関する最新情報。第 60 回全国衛生化学技術協議会年会 部門別研究会 環境・家庭用品部門（2023.11.10 福島県福島市）。

- [D-140] 小林憲弘：水道水質検査方法の開発と実態調査に関する最近の動向。令和 5 年度化学物質環境実態調査環境科学セミナー（2024.1.30 東京都港区）。
- [D-141] 小林憲弘：令和 6 年度の厚生労働省精度管理調査について（実施細則）。令和 5 年度水道水質検査精度管理に関する研修会（2024.2.7 オンライン）。
- [D-142] 小林憲弘：水道水質検査方法と精度管理に関する最近の話題。令和 5 年度 飲料水検査精度管理調査に関する研修会（2024.3.4 東京都大田区）。
- [D-143] 小林憲弘：水道水質基準と検査方法の改正に関する最新情報。令和 5 年度 神奈川県水道水質検査機関技術研修会（2024.3.14 神奈川県横浜市）。
- [D-144] 小林憲弘：水道水質検査の基礎と応用 1 基礎編：告示法・通知法を理解するためのポイント。水道水質・環境分析セミナー2024（2024.4.18 大阪府大阪市）。
- [D-145] 小林憲弘：水道水質検査の基礎と応用 2 応用編：検査方法の最新情報と水質検査の将来予測。水道水質・環境分析セミナー2024（2024.4.18 大阪府大阪市）。
- [D-146] 小林憲弘：水環境中の有機フッ素化合物 (PFAS) の規制動向および分析上の課題と展望。第 31 回クロマトグラフィーシンポジウム（2024.6.5-7 沖縄県那覇市）。
- [D-147] 小林憲弘, 土屋裕子, 五十嵐良明：日本の水環境中の 111 医薬品の存在実態の調査。第 51 回日本学会学術年会（2024.7.3-5 福岡県福岡市）。
- [D-148] 山本裕史, 二之宮良一, 小田悠介, 渡部春奈, 山岸隆博, 小林憲弘, 山田隆志, 広瀬明彦：医薬品を含む化学物質の生態毒性試験と生態リスク評価。第 51 回日本学会学術年会（2024.7.3-5 福岡県福岡市）。
- [D-149] 小林憲弘：水道水質検査におけるスクリーニング分析の社会実装に向けた進捗と課題。環境科学会 2024 年会シンポジウム「水質スクリーニング分析の社会実装における課題と提言」（2024.9.10 東京都文京区）。
- [D-150] 小林憲弘：有機フッ素化合物 (PFAS) の水質分析における課題と展望。第 50 回 BMS コンファレンス記念シンポジウム（2024.9.19 神奈川県川崎市）。
- [D-151] 小林憲弘：水道水中の農薬分析における GC/MS スクリーニング分析の実運用化の取り組み。統計数理研究所共同研究「令和 6 年度 統計学的アプローチによる問題解決のための環境化学分析の最適化・高度化に関する研究集会」（2024.11.29 東京都立川市）。
- [D-152] 小林憲弘：機器分析～機器分析の基礎・無機物の分析～。令和 6 年度 水道技術者専門別研修会（水質管理部門）（2025.1.24 埼玉県川口市）。
- [D-153] 小林憲弘：機器分析～有機物の分析・機器分析の応用～。令和 6 年度 水道技術者専門別研修会（水質管理部門）（2025.1.24 埼玉県川口市）。
- [D-154] 小林憲弘：水道水中の有機フッ素化合物 (PFAS) の基準と検査法について。令和 6 年度 地方衛生研究所全国協議会理化学部会 衛生理化学分野研修会（2025.2.13 オンライン）。

- [D-155] 小林憲弘：令和 7 年度の環境省精度管理調査について（実施細則）. 令和 6 年度水道水質検査精度管理に関する研修会（2025.3.13 オンライン）.
- [D-156] 小林憲弘：水道水質基準と検査の基本～告示法，通知法，妥当性評価のポイント等～. 水道水質・環境分析セミナー2025（2025.4.24 東京都千代田区）.
- [D-157] 小林憲弘：水道水質基準と検査の最新～PFOS・PFOA の検査，今後の改正予定等～. 水道水質・環境分析セミナー2025（2025.4.24 東京都千代田区）.

## E. 学会発表

- [E-1] 小林憲弘，木川田喜一，井上敦子，大井隆夫：火山地域における安山岩の酸性変質に関する実験的研究. 日本化学会第 78 春季年会（2000.3.28 千葉県船橋市）.
- [E-2] 小林憲弘，立見広毅，益永茂樹，中西準子：河川水中ダイオキシン類の組成と発生源の解析. 第 36 回日本水環境学会年会（2002.3.15 岡山県岡山市）.
- [E-3] 小林憲弘，益永茂樹，中西準子：河川水中ダイオキシン類の全異性体分析による挙動と発生源の解析. 第 11 回環境化学討論会（2002.6.3 神奈川県足柄下郡）.
- [E-4] 小林憲弘，益永茂樹，中西準子：河川水中ダイオキシン類の発生源寄与率の推定. 第 37 回日本水環境学会年会（2003.3.4 熊本県熊本市）.
- [E-5] 小林憲弘，益永茂樹，中西準子：東京湾流入河川におけるダイオキシン類の発生源と輸送量の推定. 第 12 回環境化学討論会（2003.6.25 新潟県新潟市）.
- [E-6] Norihiro Kobayashi, Shigeki Masunaga, Yutaka Kameda, Yoshimichi Hanai, Junko Nakanishi: Transportation of PCDD/Fs and dioxin-like PCBs by rivers into Tokyo Bay, Japan. 23th International Symposium on Halogenated Environmental Organic Pollutants and POPs (Dioxin 2003) (2003.8.26 Boston, MA, USA).
- [E-7] Norihiro Kobayashi, Shigeki Masunaga, Junko Nakanishi: Source identification of PCDD/Fs and dioxin-like PCBs in rivers flowing into the Tokyo Bay, Japan. 23th International Symposium on Halogenated Environmental Organic Pollutants and POPs (Dioxin 2003) (2003.8.28 Boston, MA, USA).
- [E-8] Norihiro Kobayashi, Shigeki Masunaga, Junko Nakanishi: Contributions of PCDD/Fs and dioxin-like PCBs sources in rivers flowing into the Tokyo Bay, Japan. SETAC North America 24th Annual Meeting (2003.11.11 Austin, TX, USA)
- [E-9] Norihiro Kobayashi, Shigeki Masunaga, Junko Nakanishi: Distribution and fate of PCDD/Fs and dioxin-like PCBs in seawater in the Tokyo Bay, Japan. SETAC North America 24th Annual Meeting (2003.11.11 Austin, TX, USA).
- [E-10] 新井麻里，小林憲弘，益永茂樹：千葉県市原市地先海域における底質中ダイオキシン類の発生源解析. 第 38 回日本水環境学会年会（2004.3.17 北海道札幌市）.

- [E-11] **Norihiro Kobayashi**, Kisaburo Nakata, Tomomi Eriguchi, Fumio Horiguchi, Junko Nakanishi, Shigeki Masunaga: Application of a mathematical model to predict dioxin concentrations in the Tokyo Bay estuary. 24th International Symposium on Halogenated Environmental Organic Pollutants and POPs (Dioxin 2004) (2004.9.7 Berlin, Germany).
- [E-12] **Norihiro Kobayashi**, Kisaburo Nakata, Tomomi Eriguchi, Shigeki Masunaga, Fumio Horiguchi, Junko Nakanishi: Prediction of dioxin concentrations in the Tokyo Bay estuary using a 3-D chemical fate prediction model. 7th International Marine Environmental Modeling Seminar (2004.10.19 Washington, D.C., USA).
- [E-13] 酒井めぐ美, **小林憲弘**, 吉田喜久雄: 大気拡散モデル ADMER を用いた大気中鉛濃度分布の推計. 環境科学会 2005 年会 (2005.9.8 愛知県名古屋市).
- [E-14] **小林憲弘**, 吉田喜久雄: 血中鉛濃度に基づいた我が国の小児に対する鉛の健康リスク評価. 第 76 回日本衛生学会総会 (2006.3.31 山口県宇部市).
- [E-15] **Norihiro Kobayashi**, Kikuo Yoshida: Risk assessment of lead for Japanese infants and children based on blood-lead concentrations. SETAC Asia/Pacific 2006 Annual Meeting (2006. 9.20 Beijing, China).
- [E-16] **Norihiro Kobayashi**, Kikuo Yoshida, Junko Nakanishi: Human health risk assessment of lead in Japan based on the blood lead levels. XI International Congress of Toxicology (ICT 2007) (2007.7.17 Montreal, Canada).
- [E-17] **Norihiro Kobayashi**, Masato Naya, Shigehisa Endoh, Kazuhiro Yamamoto, Junko Nakanishi: Comparative pulmonary toxicity study of 3 different primary-sized TiO<sub>2</sub> particles in rats. 47th Annual Meeting of the Society of Toxicology (SOT 2008) (2008.3.19 Seattle, WA, USA).
- [E-18] Masato Naya, **Norihiro Kobayashi**, Shigehisa Endoh, Kazuhiro Yamamoto, Junko Nakanishi: Comparative pulmonary toxicity study of 3 different dispersions of nano-TiO<sub>2</sub> particles in rats. 47th Annual Meeting of the Society of Toxicology (SOT 2008) (2008.3.19 Seattle, WA, USA).
- [E-19] 納屋聖人, **小林憲弘**, 遠藤茂寿, 山本和弘, 中西準子: 様々なサイズの TiO<sub>2</sub> ナノ粒子を用いた肺毒性の比較試験. 第 35 回日本トキシコロジー学会学術年会 (2008.6.26 東京都渋谷区).
- [E-20] Masato Naya, **Norihiro Kobayashi**, Makoto Ema, Junko Nakanishi: Comparative pulmonary toxicity study of different size of crystalline silica in rats: micron vs. nano-size. 46th Congress of the European Societies of Toxicology (EUROTOX 2009) (2009.9.14 Dresden, Germany).  
<https://doi.org/10.1016/j.toxlet.2009.06.628>
- [E-21] **Norihiro Kobayashi**, Masato Naya, Shigehisa Endoh, Junko Maru, Junko Nakanishi: Morphological assessment of multi-wall carbon nanotubes in the lung after intratracheal instillation in rats. 49th Annual Meeting of the Society of Toxicology (SOT 2010) (2010.3.6 Salt Lake City, UT, USA).

- [E-22] Masato Naya, Makoto Ema, **Norihiro Kobayashi**, Junko Nakanishi: Pulmonary toxicity assessment of multi-wall carbon nanotubes after single intratracheal instillation in rats. 49th Annual Meeting of the Society of Toxicology (SOT 2010) (2010.3.6 Salt Lake City, UT, USA).
- [E-23] 柳田圭悟, 江里口知己, **小林憲弘**, 堀口文男 (2010) 有害化学物質生物蓄積モデル—Windows 版プロトタイプ—の開発. 海洋理工学会 平成 22 年度春季大会 (2010.5.21 東京都港区).
- [E-24] **小林憲弘**, 亭島博彦, 江里口知己, 堀口文男: 有害化学物質生物蓄積モデル開発のための魚類中コプラナーPCB 蓄積量の調査. 海洋理工学会 平成 22 年度春季大会 (2010.5.21 東京都港区).
- [E-25] 江里口知己, 中田喜三郎, **小林憲弘**, 堀口文男 (2010) 海洋における有害化学物質生物蓄積モデルの研究 —東京湾マアナゴモデルのバージョンアップ—. 海洋理工学会 平成 22 年度春季大会 (2010.5.21 東京都港区).
- [E-26] **Norihiro Kobayashi**, Masato Naya, Makoto Ema, Shigehisa Endoh, Junko Maru, Junko Nakanishi. Toxicological and morphological assessment of multi-wall carbon nanotubes in the lung after intratracheal instillation in rats. Nanotoxicology 2010 (2010.6.4 Edinburgh, UK).
- [E-27] Takako Oyabu, Toshihiko Myojo, Yasuo Morimoto, Akira Ogami, Masami Hirohashi, Makoto Yamamoto, Motoi Todoroki, Yohei Mizuguchi, Masayoshi Hashiba, Byeong Woo Lee, Manabu Shimada, Wei-Ning Wang, Kazuhiro Yamamoto, Katsuhide Fujita, Shigehisa Endoh, Kunio Uchida, **Norihiro Kobayashi**, Junko Nakanishi, Isamu Tanaka: Deposition and biopersistence of inhaled MWCNT in rat lung. Nanotoxicology 2010 (2010.6.4 Edinburgh, UK).
- [E-28] Akira Ogami, Yasuo Morimoto, Masami Hirohashi, Takako Oyabu, Toshihiko Myojo, Motoi Todoroki, Makoto Yamamoto, Masayoshi Hashiba, Yohei Mizuguchi, Byeong Woo Lee, Manabu Shimada, Wei-Ning Wang, Kazuhiro Yamamoto, Katsuhide Fujita, Shigehisa Endoh, Kunio Uchida, **Norihiro Kobayashi**, Junko Nakanishi, Isamu Tanaka: Pathological features of rat lung following inhalation and intratracheal instillation of well-characterized fullerene (C<sub>60</sub>). Nanotoxicology 2010 (2010.6.4 Edinburgh, UK).
- [E-29] 納屋聖人, **小林憲弘**, 江馬眞, 遠藤茂寿, 丸順子, 中西準子: ラット気管内投与での多層カーボンナノチューブの肺に対する反応. 第 37 回日本トキシコロジー学会学術年会 (2010.6.16 沖縄県宜野湾市).
- [E-30] **小林憲弘**, 亭島博彦, 堀口文男: 東京湾に生息するマアナゴを対象としたコプラナーPCB 蓄積量の調査. 第 19 回環境化学討論会 (2010.6.21 愛知県春日井市).
- [E-31] Makoto Ema, **Norihiro Kobayashi**, Masato Naya, Sosuke Hanai, Junko Nakanishi: Review of reproductive and developmental toxicity of manufactured nanomaterials. XII International Congress of Toxicology (IUTOX 2010) (2010.7.21 Barcelona, Spain).
- [E-32] Masato Naya, Makoto Ema, **Norihiro Kobayashi**, Junko Nakanishi: Pulmonary responses of

multi-wall carbon nanotubes after single intratracheal instillation in rats. XII International Congress of Toxicology (IUTOX 2010) (2010.7.22 Barcelona, Spain).

- [E-33] **Norihiro Kobayashi**, Masato Naya, Makoto Ema, Shigehisa Endoh, Junko Maru, Kohei Mizuno, Junko Nakanishi: Biological response of individually dispersed multi-wall carbon nanotubes in the lung after intratracheal instillation in rats. International Conference on Safe Production and Use of Nanomaterials (NANOSAFE 2010) (2010.11.18 Grenoble, France).
- [E-34] Masato Naya, **Norihiro Kobayashi**, Shigehisa Endoh, Kohei Mizuno, Ryuichi Nagaosa, Makoto Ema, Junko Nakanishi: Pulmonary toxicity of crystalline silica after a single intratracheal instillation in rats. 50th Annual Meeting of the Society of Toxicology (SOT 2011) (2011.3.9 Washington, D.C., USA).
- [E-35] 杉本直樹, 久保田領志, 田原麻衣子, **小林憲弘**, 清水久美子, 西村哲治: LC/MS によるハロ酢酸の直接分析法の検討. 第 62 回全国水道研究発表会 (2011.5.18-20 大阪府大阪市).
- [E-36] **小林憲弘**, 久保田領志, 田原麻衣子, 清水久美子, 杉本直樹, 西村哲治: 新たに水道水質管理目標設定項目の検討対象となる農薬類の GC/MS 一斉分析法の検討. 第 20 回環境化学討論会 (2011.7.17 熊本県熊本市).
- [E-37] Reiji Kubota, Maiko Tahara, Kumiko Shimizu, **Norihiro Kobayashi**, Naoki Sugimoto, Akihiko Hirose, Tetsuji Nishimura: Time-dependent biodistribution of C<sub>60</sub> in rat after tail-vein administration. 47th Congress of the European Societies of Toxicology (EUROTOX 2011) (2011.8.30 Paris, France).  
<https://doi.org/10.1016/j.toxlet.2011.05.966>
- [E-38] **小林憲弘**, 田原麻衣子, 久保田領志, 清水久美子, 杉本直樹, 西村哲治: 水道における農薬類の管理のための分析法の最適化. 環境科学会 2011 年会 (2011.9.9 兵庫県西宮市).
- [E-39] 田原麻衣子, **小林憲弘**, 久保田領志, 清水久美子, 杉本直樹, 合田幸広, 西村哲治: NMR による環境汚染物質市販標準品の純度評価. 環境科学会 2011 年会 (2011.9.9 兵庫県西宮市).
- [E-40] 西村哲治, 小濱とも子, 鈴木俊也, 鎌迫典久, 久保田領志, **小林憲弘**, 田原麻衣子, 清水久美子, 杉本直樹: 医薬品の環境影響評価手法に関する検討. フォーラム 2011: 衛生薬学・環境トキシコロジー (2011.10.27 石川県金沢市).
- [E-41] 小濱とも子, 久保田領志, **小林憲弘**, 杉本直樹, 西村哲治: 環境中に存在する医薬品の環境影響評価について. 第 48 回全国衛生化学技術協議会年会 (2011.11.11 長野県長野市).
- [E-42] 杉本直樹, 田原麻衣子, 久保田領志, **小林憲弘**, 清水久美子, 合田幸広, 西村哲治: NMR による汚染物質のモニタリング技術の検討. 第 48 回全国衛生化学技術協議会年会 (2011.11.11 長野県長野市).

- [E-43] 久保田領志, 田原麻衣子, 清水久美子, 小林憲弘, 杉本直樹, 西村哲治: SPE-GC/MS 法による水道原水・浄水・給水栓水中 EDTA の存在実態. 第 48 回全国衛生化学技術協議会年会 (2011.11.11 長野県長野市).
- [E-44] 小林憲弘, 久保田領志, 田原麻衣子, 清水久美子, 杉本直樹, 西村哲治: 新たに水道水質管理目標設定項目の検討対象となる農薬類の一斉分析法の検討. 第 48 回全国衛生化学技術協議会年会 (2011.11.11 長野県長野市).
- [E-45] 田原麻衣子, 杉本直樹, 久保田領志, 小林憲弘, 清水久美子, 西村哲治: GC/MS データベースによる VOC の定量精度に関する研究. 第 48 回全国衛生化学技術協議会年会 (2011.11.11 長野県長野市).
- [E-46] Norihiro Kobayashi, Mayumi Kawabe, Fumio Furukawa, Reiji Kubota, Naoki Sugimoto, Tetsuji Nishimura, Akihiko Hirose: Toxicity evaluation of multi-wall carbon nanotubes in rats after tail vein administration. 51st Annual Meeting of the Society of Toxicology (SOT 2012) (2012.3.12 San Francisco, CA, USA).
- [E-47] Masato Naya, Norihiro Kobayashi, Makoto Ema, Sawako Kasamoto, Masahito Fukumuro, Shigeaki Takami, Madoka Nakajima, Makoto Hayashi, Junko Nakanishi: *In vivo* genotoxicity study of nanosized titanium dioxide particles using comet assay following intratracheal instillation in rats. 51st Annual Meeting of the Society of Toxicology (SOT 2012) (2012.3.12 San Francisco, CA, USA).
- [E-48] Makoto Ema, Akitaka Matsuda, Norihiro Kobayashi, Masato Naya, Junko Nakanishi: Evaluation of dermal and eye irritation and skin sensitization due to carbon nanotubes and fullerenes. 51st Annual Meeting of the Society of Toxicology (SOT 2012) (2012.3.13 San Francisco, CA, USA).
- [E-49] 小林憲弘, 久保田領志, 杉本直樹, 五十嵐良明: 水道水質試験法に関するアンケート調査. 第 63 回全国水道研究発表会 (2012.5.18 島根県松江市).
- [E-50] Masato Naya, Norihiro Kobayashi, Makoto Ema, Jin Tanaka, Masahito Fukumuro, Kazushige Hasegawa, Madoka Nakajima, Makoto Hayashi, Junko Nakanishi: In vivo lung comet assay of SWCNTs following intratracheal instillation to rats. 48th Congress of the European Societies of Toxicology (EUROTOX) (2012.6.17–20 Stockholm, Sweden).  
<https://doi.org/10.1016/j.toxlet.2012.03.453>
- [E-51] Makoto Ema, Masato Naya, Norihiro Kobayashi, Kazumasa Honda, Tadashi Imamura, Hiroshi Suzuki, Junko Nakanishi: Evaluation for genotoxic potential of multi-walled carbon nanotubes. 48th Congress of the European Societies of Toxicology (EUROTOX) (2012.6.17–20 Stockholm, Sweden).  
<https://doi.org/10.1016/j.toxlet.2012.03.454>
- [E-52] 小林憲弘, 塚本多矩, 田原麻衣子, 久保田領志, 杉本直樹, 五十嵐良明: 水道における水質管理目標設定項目の候補農薬の LC/MS/MS 一斉分析法の開発. 第 21 回環境化学討

論会 (2012.7.12 愛媛県松山市).

- [E-53] 小林憲弘, 河部真弓, 古川文夫, 久保田領志, 杉本直樹, 広瀬明彦: 妊娠ラットを用いた尾静脈内投与による多層カーボンナノチューブの生殖・発生毒性の評価と体内動態. 第 39 回日本毒性学会学術年会 (2012.7.18 宮城県仙台市).
- [E-54] Norihiro Kobayashi, Mayumi Kawabe, Fumio Furukawa, Reiji Kubota, Naoki Sugimoto, Akihiko Hirose: Evaluation of reproductive and developmental toxicity of multi-wall carbon nanotubes in pregnant mice after tail vein administration. 6th International Congress of Asian Society of Toxicology (ASIATOX-VI) (2012.7.20 宮城県仙台市).
- [E-55] 小林憲弘, 杉本直樹, 久保田領志, 野本雅彦, 五十嵐良明: 利根川水系の浄水場におけるホルムアルデヒド水質汚染の原因物質の探索. 環境科学会 2012 年会 (2012.9.13 神奈川県横浜市).
- [E-56] 小林憲弘, 杉本直樹, 久保田領志, 野本雅彦, 五十嵐良明: ホルムアルデヒド水質汚染の原因物質の特定に至る経緯と水道水中の未規制物質の管理における今後の課題. 日本リスク研究学会第 25 回年次大会 (2012.11.11 滋賀県彦根市).
- [E-57] 田原麻衣子, 杉本直樹, 小林憲弘, 久保田領志, 穠山浩, 五十嵐良明: GC/MS データベースを用いた定量分析への新規キャリブレーションシステムの適用. 第 49 回全国衛生化学技術協議会年会 (2012.11.22 香川県高松市).
- [E-58] 久保田領志, 小林憲弘, 田原麻衣子, 杉本直樹, 五十嵐良明: LC/MS を用いた水道水中フェノール類分析法の検討. 第 49 回全国衛生化学技術協議会年会 (2012.11.22 香川県高松市).
- [E-59] 小林憲弘, 久保田領志, 田原麻衣子, 杉本直樹, 五十嵐良明: 水道水中の農薬類の分析法開発とその妥当性評価. 第 49 回全国衛生化学技術協議会年会 (2012.11.22 香川県高松市).
- [E-60] Masato Naya, Norihiro Kobayashi, Kazumasa Honda, Makoto Ema, Junko Nakanishi: Pulmonary toxicity assessment of multi-walled carbon nanotubes after single intratracheal instillation in a one-year bioassay of rats. 52nd Annual Meeting of the Society of Toxicology (SOT 2013) (2013.3.11 San Antonio, TX, USA).
- [E-61] Norihiro Kobayashi, Mayumi Kawabe, Hironao Nakashima, Takamasa Numano, Reiji Kubota, Naoki Sugimoto, Akihiko Hirose: Evaluation of reproductive and developmental toxicity of multi-wall carbon nanotubes in pregnant mice after intratracheal instillation. 52nd Annual Meeting of the Society of Toxicology (SOT 2013) (2013.3.12 San Antonio, TX, USA).
- [E-62] 小林憲弘, 沼野琢旬, 中島弘尚, 河部真弓, 久保田領志, 広瀬明彦: 妊娠マウスを用いた気管内投与による多層カーボンナノチューブの生殖・発生毒性の評価. 第 40 回日本毒性学会学術年会 (2013. 6.17 千葉県千葉市).

- [E-63] 小林憲弘, 久保田領志, 浅見真理, 五十嵐良明: 水道水中のホルムアルデヒド簡易・迅速分析法の妥当性評価. 第 22 回環境化学討論会 (2013.7.31 東京都府中市).
- [E-64] 小林憲弘, 久保田領志, 塚本多矩, 五十嵐良明: 水道水中のホルムアルデヒド前駆物質の LC/MS/MS 一斉分析法の開発. 第 22 回環境化学討論会 (2013.8.1 東京都府中市).
- [E-65] 久保田領志, 小林憲弘, 田原麻衣子, 杉本直樹, 五十嵐良明: 固相抽出-LC/MS による水道水中フェノール及びクロロフェノール類の分析法の検討. 第 22 回環境化学討論会 (2013.8.1 東京都府中市).
- [E-66] Akihiko Hirose, Norihiro Kobayashi, Mayumi Kawabe, Hironao Nakashima, Takamasa Numano, Reiji Kubota, Yoshiaki Ikarashi: Developmental toxicity by intratracheal instillation of multi-wall carbon nanotubes in pregnant mice. 6th International Symposium on Nanotechnology, Occupational and Environmental Health (NanOEH) (2013.8.29 愛知県名古屋市).
- [E-67] Akihiko Hirose, Norihiro Kobayashi, Tomoko Fujitani, Yoshimitsu Sakamoto, Yasuo Yoshioka, Yasuo Tsutsumi, Hiroyuki Tsuda, Jun Kanno: Nanotoxicity and nano safety science in various exposure scenarios. 49th Congress of the European Societies of Toxicology (EUROTOX) (2013.9.1-4 Interlaken, Switzerland).  
<https://doi.org/10.1016/j.toxlet.2013.06.023>
- [E-68] 五十嵐良明, 久保田領志, 小林憲弘, 田原麻衣子, 杉本直樹, 安藤正典, 小嶋隼, 尾川毅: 平成 24 年度水道水質検査精度管理のための統一試料調査の結果および留意点について. 日本水道協会 平成 25 年度全国会議 (水道研究発表会) (2013.10.25 福島県郡山市).
- [E-69] 久保田領志, 小林憲弘, 田原麻衣子, 今村悠佑, 木村謙治, 小林利男, 齋藤信裕, 杉本智美, 林広宣, 古谷智仁, 舟洞健二, 三枝慎一郎, 山田義隆, 杉本直樹, 西村哲治, 五十嵐良明: 固相抽出-誘導体化 GC/MS 法による EDTA 検査法の妥当性評価. 日本水道協会 平成 25 年度全国会議 (水道研究発表会) (2013.10.25 福島県郡山市).
- [E-70] 小林憲弘, 久保田領志, 田原麻衣子, 木村謙治, 林広宣, 山田義隆, 小林利男, 舟洞健二, 三枝慎一郎, 古谷智仁, 杉本智美, 五十嵐良明: 固相抽出-GC/MS による水道水中農薬類の一斉分析法の妥当性評価. 日本水道協会 平成 25 年度全国会議 (水道研究発表会) (2013.10.25 福島県郡山市).
- [E-71] 久保田領志, 小林憲弘, 田原麻衣子, 杉本直樹, 五十嵐良明: 水道水質検査精度管理のための統一試料調査: 平成 24 年度の結果及び留意点について. 第 50 回全国衛生化学技術協議会年会 (2013.11.8 富山県富山市).
- [E-72] 小林憲弘, 久保田領志, 五十嵐良明: LC/MS/MS を用いた水道水中のアルデヒド前駆物質の一斉分析法の開発. 第 50 回全国衛生化学技術協議会年会 (2013.11.8 富山県富山市).
- [E-73] Norihiro Kobayashi, Takamasa Numano, Reiji Kubota, Yoshiaki Ikarashi, Akihiko Hirose: Developmental toxicity assessment of multi-wall carbon nanotubes in pregnant mice after

intratracheal instillation. 53rd Annual Meeting of the Society of Toxicology (SOT 2014) (2014.3.24 Phoenix, AZ, USA).

- [E-74] 小林憲弘, 田中亮太, 竹原広, 納屋聖人, 久保田領志, 五十嵐良明, 広瀬明彦: マウス反復気管内投与による多層カーボンナノチューブの催奇形性の評価. 第 41 回日本毒理学学会学術年会 (2014.7.2 兵庫県神戸市).
- [E-75] 小林憲弘, 久保田領志, 五十嵐良明: 水道水中のイミノクタジン, ジクワット, パラコートの一斉分析法開発. 日本水道協会 平成 26 年度全国会議 (水道研究発表会) (2014.10.31 愛知県名古屋市).
- [E-76] 久保田領志, 小林憲弘, 五十嵐良明: 平成 25 年度水道水質検査精度管理のための統一試料調査の結果および留意点. 日本水道協会 平成 26 年度全国会議 (水道研究発表会) (2014.10.31 愛知県名古屋市).
- [E-77] 久保田領志, 小林憲弘, 齊藤香織, 齋藤信裕, 鈴木俊也, 小杉有希, 田中美奈子, 塚本多矩, 林田寛司, 平林達也, 山本五秋, 五十嵐良明: 固相抽出-LC/MS 法による水道水中フェノール類検査法の妥当性評価. 第 51 回全国衛生化学技術協議会年会 (2014.11.20 大分県別府市).
- [E-78] 久保田領志, 小林憲弘, 五十嵐良明: 水道水質検査精度管理のための統一試料調査: 平成 25 年度の結果および留意点について. 第 51 回全国衛生化学技術協議会年会 (2014.11.20 大分県別府市).
- [E-79] 小林憲弘, 古川浩司, 久保田領志, 五十嵐良明: 水道水中のジチオカルバメート系農薬の分析法開発-HS-GC/MS 法-. 第 51 回全国衛生化学技術協議会年会 (2014.11.20 大分県別府市).
- [E-80] 小林憲弘, 久保田領志, 五十嵐良明: 水道水中のピラクロニル・フェリムゾンの分析法開発. 第 51 回全国衛生化学技術協議会年会 (2014.11.20 大分県別府市).
- [E-81] 小林憲弘, 久保田領志, 佐々木俊哉, 五十嵐良明: 水道水中のパラコートの分析法開発. 第 51 回全国衛生化学技術協議会年会 (2014.11.20 大分県別府市).
- [E-82] 小林憲弘, 古川浩司, 阿部晃文, 久保田領志, 五十嵐良明: 水道水中のダゾメット・メタム (カーバム) の分析法開発. 第 51 回全国衛生化学技術協議会年会 (2014.11.20 大分県別府市).
- [E-83] **Norihiko Kobayashi**, Reiji Kubota, Ryota Tanaka, Hiroshi Takehara, Masato Naya, Yoshiaki Ikarashi, Akihiko Hirose: Evaluation of teratogenicity of multi-wall carbon nanotubes in pregnant mice after repeated intratracheal instillation. 54th Annual Meeting of the Society of Toxicology (SOT 2015) (2015.3.26 San Diego, CA, USA).
- [E-84] 久保田領志, 小林憲弘, 五十嵐良明: 固相抽出-LC/MS によるハロアセトアミド類の分析法の開発及び水道水中の存在実態. 第 24 回環境化学討論会 (2015.6.24 北海道札幌市).

- [E-85] 小林憲弘, 久保田領志, 菱木麻佑, 小杉有希, 鈴木俊也, 五十嵐良明: LC/MS/MS を用いた水道水中ホルムアルデヒドとアセトアルデヒドの同時分析. 第 24 回環境化学討論会 (2015.6.24 北海道札幌市).
- [E-86] 小林憲弘, 田中翔, 竹原広, 納屋聖人, 久保田領志, 五十嵐良明, 広瀬明彦: マウス単回・反復気管内投与による多層カーボンナノチューブの催奇形性の評価. 第 42 回日本毒性学会学術年会 (2015.6.30 石川県金沢市).
- [E-87] 小林憲弘, 久保田領志, 五十嵐良明: 水道水中の GC/MS 分析対象農薬の LC/MS/MS 一斉分析方法の検討. 環境科学会 2015 年会 (2015.9.7 大阪府吹田市).
- [E-88] 小林憲弘, 久保田領志, 菱木麻佑, 小杉有希, 鈴木俊也, 五十嵐良明: LC/UV および LC/MS/MS による水道水中ホルムアルデヒドとアセトアルデヒドの同時分析法の検討. 日本水道協会 平成 27 年度全国会議(水道研究発表会) (2015.10.21 埼玉県さいたま市).
- [E-89] 久保田領志, 小林憲弘, 五十嵐良明: 平成 26 年度水質検査精度管理のための統一試料調査の結果および留意点. 日本水道協会 平成 27 年度全国会議 (水道研究発表会) (2015.10.21 埼玉県さいたま市).
- [E-90] 久保田領志, 小林憲弘, 五十嵐良明: 水質検査精度管理のための統一試料調査: 平成 26 年度の結果および留意点について. 第 52 回全国衛生化学技術協議会年会 (2015.12.3 静岡県静岡市).
- [E-91] 久保田領志, 小林憲弘, 五十嵐良明: 水道水中ハロアセトアミド類の分析法の開発及びその存在実態. 第 52 回全国衛生化学技術協議会年会 (2015.12.3 静岡県静岡市).
- [E-92] 小林憲弘, 久保田領志, 鈴木俊也, 川元達彦, 高木総吉, 吉田仁, 小高陽子, 菌部真理奈, 小林浩, 望月映希, 上村仁, 西以和貴, 佐藤学, 辻清美, 宮本紫織, 大窪かおり, 五十嵐良明: 対象農薬リスト掲載農薬の新規 6 分析法の妥当性評価. 第 52 回全国衛生化学技術協議会年会 (2015.12.3 静岡県静岡市).
- [E-93] 小林憲弘, 久保田領志, 菱木麻佑, 小杉有希, 鈴木俊也, 五十嵐良明: HPLC/UV および LC/MS/MS による水道水中ホルムアルデヒドおよびアセトアルデヒドの同時分析. 第 52 回全国衛生化学技術協議会年会 (2015.12.3 静岡県静岡市).
- [E-94] Norihiro Kobayashi, Sho Tanaka, Makoto Ema, Yoshiaki Ikarashi, Akihiko Hirose: Evaluation of developmental toxicity of multi-wall carbon nanotubes in pregnant mice after repeated intratracheal instillation. Society for Risk Analysis 2015 Annual Meeting (2015.12.7 Arlington, VA, USA).
- [E-95] 小林憲弘, 矢代和史, 久保田領志, 五十嵐良明: 塩素処理による水道水中プロチオホスの分解物の生成. 第 50 回日本水環境学会年会 (2016.3.18 徳島県徳島市).
- [E-96] Reiji Kubota, Norihiro Kobayashi, Yoshiaki Ikarashi: Development of an analytical method for the determination of haloacetamides in water by SPE-LC/MS and their detection in tap water from

Japan. International symposium on environmental chemistry and toxicology - to accelerate a global network of environmental researchers (2016.3.19 愛媛県松山市).

- [E-97] 榎本剛司, 奥野美帆, 秋山由華, 小林憲弘: 塩化スズ (II) を用いたジチオカルバメート系農薬の分析法の検討. 第 25 回環境化学討論会 (2016.6.8 新潟県新潟市).
- [E-98] 久保田領志, 小林憲弘, 五十嵐良明: 水道水質検査精度管理のための統一試料調査に関する経年分析 (平成 17~26 年度): 無機物. 第 25 回環境化学討論会 (2016.6.9 新潟県新潟市).
- [E-99] 小林憲弘, 塚本多矩, 堀池秀樹, 久保田領志, 五十嵐良明: 水道水の検査対象農薬の LC/MS/MS 一斉分析法の検討. 第 25 回環境化学討論会 (2016.6.10 新潟県新潟市).
- [E-100] Norihiro Kobayashi, Yuko Tsuchiya, Reiji Kubota, Yoshiaki Ikarashi: Formation of prothiofos-oxon by chlorination of prothiofos in tap water. Water and Environment Technology Conference 2016 (WET2016) (2016.8.28 東京都文京区).
- [E-101] 小松原由美, 江里口知己, 小林憲弘: 化学物質運命予測モデルを用いた環境水中農薬の動態予測. 海洋理工学会 平成 28 年度秋季大会 (2016.10.28 京都府京都市).
- [E-102] Norihiro Kobayashi, Taku Tsukamoto, Hideki Horiike, Reiji Kubota, Yoshiaki Ikarashi: Development of a simultaneous analytical method for agricultural chemicals in tap water using LC/MS/MS. 7th SETAC World Congress/SETAC North America 37th Annual Meeting (2016. 11. 7 Orlando, FL, USA).
- [E-103] 久保田領志, 小林憲弘, 五十嵐良明: 平成 27 年度水道水質検査精度管理のための統一試料調査の結果および留意点. 日本水道協会 平成 28 年度全国会議 (水道研究発表会) (2016.11.9 京都府京都市).
- [E-104] Yutaka Abe, Norihiro Kobayashi, Motoh Mutsuga, Kyoko Sato, Eri Kishi, Asako Ozaki: Determination of formaldehyde and acetaldehyde levels in PET-bottled mineral water using a rapid and simple analytical method. 6th International Symposium on Food Packaging: Scientific Developments Supporting Safety and Innovation (2016. 11.16 Barcelona, Spain).
- [E-105] 久保田領志, 小林憲弘, 五十嵐良明: 水道水質検査精度管理のための統一試料調査: 平成 27 年度の結果および留意点. 第 53 回全国衛生化学技術協議会年会 (2016.11.17 青森県青森市).
- [E-106] 久保田領志, 小林憲弘, 五十嵐良明: 水道水質検査精度管理のための統一試料調査: 無機物に関する経年分析 (平成 17~26 年度). 第 53 回全国衛生化学技術協議会年会 (2016.11.17 青森県青森市).
- [E-107] 小林憲弘, 久保田領志, 五十嵐良明: 水道水の検査対象農薬の LC/MS/MS 一斉分析法の開発と妥当性評価. 第 53 回全国衛生化学技術協議会年会 (2016.11.17 青森県青森市).
- [E-108] 土屋裕子, 小林憲弘, 久保田領志, 五十嵐良明: 水道水中プロチオホスの塩素処理によ

るオキソン体の生成. 第 53 回全国衛生化学技術協議会年会 (2016.11.17 青森県青森市).

- [E-109] **Norihiro Kobayashi**, Sho Tanaka, Yoshiaki Ikarashi, Akihiko Hirose: Developmental toxicity assessment of various sizes of multi-wall carbon nanotubes in mice after repeated intratracheal instillation to initiate grouping and read across. Society for Risk Analysis 2016 Annual Meeting (2016.12.12 San Diego, CA, USA).
- [E-110] **小林憲弘**, 小松原由美, 江里口知己, 五十嵐良明: 環境水中農薬の動態予測モデルの構築と適用. 第 51 回日本水環境学会年会 (2017.3.17 熊本県熊本市).
- [E-111] **Norihiro Kobayashi**, Yoshiaki Ikarashi: Development and application of a pharmaceutical fate prediction model in Japanese water environment. SETAC Europe 27th Annual Meeting (2017.5.10 Brussels, Belgium).
- [E-112] 阿部裕, **小林憲弘**, 山口未来, 六鹿元雄, 岸映里, 尾崎麻子, 佐藤恭子: PET ボトル入りミネラルウォーター中のホルムアルデヒドおよびアセトアルデヒド分析法の簡易化および実態調査. 日本食品化学学会 第 23 回総会・学術大会 (2017.6.1 三重県志摩市).
- [E-113] **小林憲弘**, 小坂浩司, 浅見真理, 中川慎也, 木下輝昭, 高木総吉, 中島孝江, 古川浩司, 中村弘揮, 工藤清惣, 粕谷智浩, 土屋かおり, 寺中郁夫, 若月紀代子, 加登優樹, 小関栄一郎, 井上智, 村上真一, 金田智, 関桂子, 北本靖子, 堀池秀樹, 米久保淳, 清水尚登, 高原玲華, 齊藤香織, 五十嵐良明: LC/MS/MS による水道水中の臭素酸の分析条件検討と妥当性評価. 第 26 回環境化学討論会 (2017.6.7 静岡県静岡市).
- [E-114] **Norihiro Kobayashi**, Yuko Tsuchiya, Yoshiaki Ikarashi: Transformation to a degradation product by hydrolysis of iprodione. Water and Environment Technology Conference 2017 (WET2017) (2017.7.23 北海道札幌市).
- [E-115] **小林憲弘**, 小松原由美, 江里口知己, 五十嵐良明: 化学物質運命予測モデルを用いた水道水の検査対象農薬の選定. 環境科学会 2017 年会 (2017.9.14 福岡県北九州市).
- [E-116] 高木総吉, 吉田仁, 安達史恵, 宮脇崇, **小林憲弘**: 水道水質検査におけるスクリーニング分析適用に向けた挑戦. 平成 29 年度地方衛生研究所全国協議会近畿支部理化学部会研修会 (2017.11.2 大阪府堺市).
- [E-117] **Norihiro Kobayashi**, Yumi Komatsubara, Tomomi Eriguchi, Yoshiaki Ikarashi: Development and application of an agricultural chemicals fate prediction model in Japanese water environment. SETAC North America 38th Annual Meeting (2017. 11. 13 Minneapolis, MN, USA).
- [E-118] 川元達彦, 井上亘, 谷畑智也, 鈴木雅和, 野村素行, **小林憲弘**: 水中揮発性有機化合物 61 成分の多成分一斉分析法に関する研究. 第 54 回全国衛生化学技術協議会年会 (2017.11.21 奈良県奈良市).
- [E-119] 土屋裕子, **小林憲弘**, 五十嵐良明: 水中におけるイプロジオン代謝産物の生成挙動とその検査法の検討. 第 54 回全国衛生化学技術協議会年会 (2017.11.21 奈良県奈良市).

- [E-120] 高木総吉, 安達史恵, 吉田仁, 小林憲弘: 液体クロマトグラフ-質量分析計による水道水中テフリトリオンの分析法検討と妥当性評価. 第 54 回全国衛生化学技術協議会年会 (2017.11.21 奈良県奈良市).
- [E-121] 内野正, 小林憲弘, 五十嵐良明: 水道水中のホルムアデヒド簡易測定法の妥当性評価. 第 54 回全国衛生化学技術協議会年会 (2017.11.21 奈良県奈良市).
- [E-122] 小林憲弘, 久保田領志, 内野正, 五十嵐良明: 平成 28 年度厚生労働省水道水質検査精度管理のための統一試料調査の結果. 第 54 回全国衛生化学技術協議会年会 (2017.11.21 奈良県奈良市).
- [E-123] Norihiro Kobayashi, Yumi Komatsubara, Tomomi Eriguchi, Yoshiaki Ikarashi: Application of a 3-D chemical fate prediction model for risk assessment of agricultural chemicals in Japanese river water. Society for Risk Analysis 2017 Annual Meeting (2017.12.11 Arlington, VA, USA).
- [E-124] Norihiro Kobayashi, Ryota Tanaka, Yoshiaki Ikarashi, Akihiko Hirose: Developmental toxicity assessment of four different preparations of multi-wall carbon nanotubes in mice after repeated intratracheal instillation. 57th Annual Meeting of the Society of Toxicology (SOT 2018) (2018.3.14 San Antonio, TX, USA).
- [E-125] 内野正, 小林憲弘, 五十嵐良明: 水道水中のホルムアルデヒド簡易測定法の定量精度について. 第 52 回日本水環境学会年会 (2018.3.15 北海道札幌市).
- [E-126] 高木総吉, 安達史恵, 吉田仁, 木下輝昭, 小林憲弘: 液体クロマトグラフ-質量分析計を用いた水道水中 140 種農薬の分析法検討と妥当性評価. 日本薬学会第 138 年会 (2018.3.26 石川県金沢市).
- [E-127] 安達史恵, 吉田仁, 高木総吉, 小泉義彦, 中島孝江, 北村雅世, 鳥居将士, 吉田直志, 小林憲弘: 水道原水および浄水中における農薬類代謝物の分析方法の検討および実態調査. 第 27 回環境化学討論会 (2018.5.24 沖縄県那覇市).
- [E-128] 高木総吉, 小林憲弘, 宮脇崇, 安達史恵, 吉田仁, 木下輝昭, 中川慎也, 梅津萌子, 仲野富美, 辻清美, 上村仁, 大窪かおり, 門上希和夫: ガスクロマトグラフ-質量分析計を用いた水道水中農薬類のスクリーニング分析法の検討. 第 27 回環境化学討論会 (2018.5.24 沖縄県那覇市).
- [E-129] 小林憲弘, 土屋裕子, 高木総吉, 宮脇崇, 門上希和夫, 五十嵐良明: GC/MS スクリーニング分析法を用いた水道原水・水道水中農薬の実態調査. 第 27 回環境化学討論会 (2018.5.24 沖縄県那覇市).
- [E-130] Norihiro Kobayashi, Yuko Tsuchiya, Michiko Hotai, Yoshiaki Ikarashi: Environmental monitoring and fate prediction of human pharmaceuticals in Japanese river water. Water and Environment Technology Conference 2018 (WET2018) (2018.7.15 愛媛県松山市).
- [E-131] 北條幹, 小林憲弘, 長谷川悠子, 安藤弘, 久保喜一, 海鋒藤文, 田中和良, 五十嵐海,

村上詩歩, 多田幸恵, 生嶋清美, 湯澤勝廣, 坂本義光, 前野愛, 鈴木俊也, 猪又明子, 守安貴子, 高橋祐次, 広瀬明彦, 中江大: 多層カーボンナノチューブのマウス気管内投与による発生毒性と肺の炎症との関係. 第45回日本毒性学会学術年会 (2018.7.19 大阪府大阪市).

- [E-132] 小林憲弘, 土屋裕子, 高木総吉, 宮脇崇, 門上希和夫, 五十嵐良明: 水道水中農薬のGC/MSスクリーニング分析法の開発と実試料への適用. 第21回日本水環境学会シンポジウム (2018.9.4 島根県松江市).
- [E-133] Motoki Hojo, Norihiro Kobayashi, Yuko Hasegawa, Yoshimitsu Sakamoto, Shiho Murakami, Yukio Yamamoto, Yukie Tada, Yuji Taquahashi, Toshinari Suzuki, Akihiko Hirose, Dai Nakae: Relationship between developmental toxicity of multi-wall carbon nanotubes and lung inflammation in pregnant mice after repeated intratracheal instillation. 54th Congress of the European Societies of Toxicology (EUROTOX 2018) (2018.9.2-5 Brussels, Belgium).  
<https://doi.org/10.1016/j.toxlet.2018.06.915>
- [E-134] 小林憲弘, 土屋裕子, 高木総吉, 宮脇崇, 門上希和夫, 五十嵐良明: GC/MSスクリーニング分析による水道原水・水道水中の176農薬の実態調査. 環境科学会2018年会 (2018.9.10 東京都北区).
- [E-135] 小林憲弘, 保田井美智子, 土屋裕子, 五十嵐良明: LC/MS/MSによるヒト用医薬品55種の水環境モニタリング調査. 環境科学会2018年会 (2018.9.10 東京都北区).
- [E-136] Norihiro Kobayashi, Yuko Tsuchiya, Sokichi Takagi, Takashi Miyawaki, Kiwao Kadokami, Yoshiaki Ikarashi: Monitoring of 176 agricultural chemicals in raw water and tap water by GC/MS screening analytical method. SETAC North America 39th Annual Meeting (2018.11.5 Sacramento, CA, USA).
- [E-137] Sokichi Takagi, Norihiro Kobayashi, Takashi Miyawaki, Fumie Adachi, Jin Yoshida, Yuko Tsuchiya, Kiwao Kadokami: Development of an analytical screening method for agricultural chemicals in drinking water using GC-MS. SETAC North America 39th Annual Meeting (2018.11.5 Sacramento, CA, USA).
- [E-138] 小池真生子, 長谷川有紀, 安達史恵, 吉田仁, 高木総吉, 小泉義彦, 中島孝江, 北村雅世, 鳥居将士, 吉田直志, 小林憲弘: 水環境中における農薬代謝物の検出状況と浄水処理評価. 第55回全国衛生化学技術協議会年会 (2018.11.29 神奈川県横浜市).
- [E-139] 長谷川有紀, 小池真生子, 高木総吉, 安達史恵, 吉田仁, 小林憲弘: 水環境中における除外農薬類の検出特性. 第55回全国衛生化学技術協議会年会 (2018.11.29 神奈川県横浜市).
- [E-140] 土屋裕子, 小林憲弘, 高木総吉, 宮脇崇, 門上希和夫, 五十嵐良明: 水道原水・水道水中の176農薬のGC/MSスクリーニング分析による実態調査. 第55回全国衛生化学技術協議会年会 (2018.11.29 神奈川県横浜市).

- [E-141] 内野正, 土屋裕子, 小林憲弘, 五十嵐良明: 平成 29 年度厚生労働省水道水質検査精度管理のための統一試料調査の結果. 第 55 回全国衛生化学技術協議会年会 (2018.11.30 神奈川県横浜市).
- [E-142] 高木総吉, 小林憲弘, 宮脇崇, 安達史恵, 吉田仁, 土屋裕子, 木下輝昭, 中川慎也, 梅津萌子, 仲野富美, 辻清美, 上村仁, 大窪かおり, 門上希和夫: 176 種農薬を対象とした GC-MS によるスクリーニング分析法の定量精度について. 第 55 回全国衛生化学技術協議会年会 (2018.11.30 神奈川県横浜市).
- [E-143] 保田井美智子, 土屋裕子, 小林憲弘, 五十嵐良明: ヒト用医薬品 55 種の LC/MS/MS による水環境モニタリング調査. 第 55 回全国衛生化学技術協議会年会 (2018.11.30 神奈川県横浜市).
- [E-144] 小林憲弘, 土屋裕子, 保田井美智子, 五十嵐良明: 水環境中のヒト用医薬品の一斉分析方法の開発と全国モニタリング. 第 53 回日本水環境学会年会 (2019.3.8 山梨県甲府市).
- [E-145] 土屋裕子, 小林憲弘, 高木総吉, 五十嵐良明: 水道水中農薬の GC/MS ターゲットスクリーニング分析法に用いる検量線の定量精度に関する検討. 第 28 回環境化学討論会 (2019.6.12 埼玉県さいたま市).
- [E-146] 小林憲弘, 土屋裕子, 高木総吉, 宮脇崇, 門上希和夫, 五十嵐良明: GC/MS ターゲットスクリーニング分析法を用いた水道水・水道原水中農薬の実態調査とその定量精度の検証. 第 28 回環境化学討論会 (2019.6.13 埼玉県さいたま市).
- [E-147] 高木総吉, 小池真生子, 長谷川有紀, 安達史恵, 吉田仁, 小林憲弘, 山口進康: 水道水質における農薬類検査法としての GC-MS ターゲットスクリーニング分析法の有用性評価. 第 28 回環境化学討論会 (2019.6.13 埼玉県さいたま市).
- [E-148] 小林憲弘, 土屋裕子, 五十嵐良明: LC/MS/MS によるヒト用医薬品 58 種の水環境モニタリング調査. 第 46 回日本毒性学会学術年会 (2019.6.28 徳島県徳島市).
- [E-149] Norihiro Kobayashi, Yuko Tsuchiya, Yoshiaki Ikarashi: Environmental monitoring of 58 human pharmaceuticals in Japanese river water by LC/MS/MS. Water and Environment Technology Conference 2019 (WET2019) (2019.7.14 大阪府吹田市).
- [E-150] 小林憲弘, 土屋裕子, 高木総吉, 五十嵐良明: GC/MS ターゲットスクリーニング分析法による水道水・水道原水中農薬の実態調査とその分析精度の評価. 第 22 回日本水環境学会シンポジウム (2019.9.6 北海道札幌市).
- [E-151] 土屋裕子, 小林憲弘, 五十嵐良明: 水道水中の塩素酸・亜塩素酸・過塩素酸・臭素酸の LC/MS/MS 一斉分析法の開発. 環境科学会 2019 年会 (2019.9.13 愛知県名古屋市).
- [E-152] Norihiro Kobayashi, Yuko Tsuchiya, Sokichi Takagi, Yoshiaki Ikarashi: Application and quantitative accuracy evaluation of GC/MS target screening analytical method for agricultural chemicals in raw and ground water. SETAC North America 40th Annual Meeting (2019.11.4

Toronto, ON, Canada).

- [E-153] 内野正, 土屋裕子, 小林憲弘, 五十嵐良明: 平成 30 年度厚生労働省水道水質検査精度管理のための統一試料調査の結果. 第 56 回全国衛生化学技術協議会年会 (2019.12.6 広島県広島市).
- [E-154] 小林憲弘, 土屋裕子, 五十嵐良明: 水道水中の陰イオン類の LC/MS/MS 一斉分析法の開発と妥当性評価. 第 56 回全国衛生化学技術協議会年会 (2019.12.6 広島県広島市).
- [E-155] 高木総吉, 小池真生子, 長谷川有紀, 安達史恵, 吉田仁, 小林憲弘, 山口進康: 水質監視手法としての GC/MS ターゲットスクリーニング分析法の応用について. 第 56 回全国衛生化学技術協議会年会 (2019.12.6 広島県広島市).
- [E-156] 土屋裕子, 小林憲弘, 高木総吉, 五十嵐良明: 水道原水・水道水中の農薬類の GC/MS ターゲットスクリーニング分析法による実態調査と定量精度の評価. 第 56 回全国衛生化学技術協議会年会 (2019.12.6 広島県広島市).
- [E-157] 小林憲弘, 土屋裕子, 田畑美世, 五十嵐良明: 水環境中のヒト用医薬品の LC/MS/MS 一斉分析法の開発と全国モニタリング. 第 56 回全国衛生化学技術協議会年会 (2019.12.6 広島県広島市).
- [E-158] Norihiko Kobayashi, Yuko Tsuchiya, Miyo Tabata, Yumi Komatsubara, Tomomi Eriguchi, Yoshiaki Ikarashi: Environmental monitoring and application of a chemical fate prediction model for risk assessment of human pharmaceuticals in Japanese river water. Society for Risk Analysis 2019 Annual Meeting (2019.12.9 Arlington, VA, USA).
- [E-159] 小林憲弘, 土屋裕子, 田畑美世, 五十嵐良明: LC/MS/MS 一斉分析による水環境中のヒト用医薬品 110 種の全国モニタリング. 第 54 回日本水環境学会年会 (2020.3.16 誌上発表).
- [E-160] 前野愛, 北條幹, 坂本義光, 生嶋清美, 山本行男, 湯澤勝廣, 長谷川悠子, 長澤明道, 久保喜一, 安藤弘, 田中和良, 鈴木仁, 猪又明子, 守安貴子, 高橋祐次, 横田理, 小林憲弘, 広瀬明彦, 中江大: ラットによる多層カーボンナノチューブ (MWCNT) の長期気管内反復投与試験: 1 年経過時点における報告. 第 47 回日本毒性学会学術年会 (2020.6.29 オンライン).
- [E-161] 内野正, 小林憲弘, 五十嵐良明: 水系暴露濃度予測モデルを用いたヒト用医薬品の河川中濃度の推定. 第 47 回日本毒性学会学術年会 (2020.6.29 オンライン).
- [E-162] 内野正, 土屋裕子, 小林憲弘, 五十嵐良明: 令和元年度厚生労働省水道水質検査精度管理のための統一試料調査の結果. 第 57 回全国衛生化学技術協議会年会 (2020.11.9 オンライン).
- [E-163] Norihiko Kobayashi, Yuko Tsuchiya, Sokichi Takagi, Yoshiaki Ikarashi: GC/MS target screening method for 176 agricultural chemicals in drinking water samples. SETAC North America 41st

Annual Meeting (2020.11.15 Online).

- [E-164] Sokichi Takagi, Yuki Hasegawa, Maoko Koike, Jin Yoshida, Fumie Adachi, **Norihiro Kobayashi**, Kiwao Kadokami, Nobuyasu Yamaguchi: Concentrations of agricultural chemicals in water sources by the target screening method using LC-QTOF-MS-SWATH. SETAC North America 41st Annual Meeting (2020.11.15 Online).
- [E-165] 内野正, **小林憲弘**, 五十嵐良明: ヒト用医薬品 4 種の水系暴露濃度予測モデル(AIST-SHANEL)による河川中濃度の推計. 第 55 回日本水環境学会年会 (2021.3.4 オンライン).
- [E-166] 前野愛, 北條幹, 坂本義光, 湯澤勝廣, 長谷川悠子, 長澤明道, 生嶋清美, 平松恭子, 海鉦藤文, 山本行男, 安藤弘, 田中和良, 鈴木仁, 猪又明子, 守安貴子, 高橋祐次, 横田理, **小林憲弘**, 広瀬明彦, 中江大: 多層カーボンナノチューブ (MWCNT) の 2 年間ラット気管内反復投与試験における投与器具の違いによる毒性の比較: 1 年経過時点での報告. 第 48 回日本毒性学会学術年会 (2021.7.7-9 兵庫県神戸市).
- [E-167] Katsuyoshi Horibata, Motoki Hojo, Tomoko Ando, Satoshi Yokota, Yuhji Taquahashi, **Norihiro Kobayashi**, Hironao Takasawa, Shuishi Hamada, Keiichi Sugiyama, Masamitsu Honma: *In vivo* Genotoxicity assessment of multi-walled carbon nanotubes using the optimized lung micronucleus assay. Environmental Mutagenesis & Genomics Society Virtual Annual Meeting (2021.9.22-25 Online).
- [E-168] 堀端克良, 北條幹, 安東朋子, 横田理, 高橋祐次, **小林憲弘**, 高沢博修, 濱田修一, 杉山圭一, 本間正充: 最適化肺小核試験法を用いた多層カーボンナノチューブの *in vivo* 遺伝毒性評価. 日本環境変異原ゲノム学会 第 50 回記念大会 (2021.11.1-2 神奈川県横須賀市).
- [E-169] 内野正, 土屋裕子, **小林憲弘**, 五十嵐良明: 平成 29 年度~令和 2 年度厚生労働省水道水質検査精度管理のための統一試料調査の結果. 第 58 回全国衛生化学技術協議会年会 (2021.11.25-26 オンライン).
- [E-170] 内野正, **小林憲弘**, 五十嵐良明: 水系暴露濃度予測モデル (AIST-SHANEL) によるヒト用医薬品 11 種の河川水中濃度の推計. 第 56 回日本水環境学会年会 (2022.3.16-18 オンライン).
- [E-171] **Norihiro Kobayashi**, Yuko Tsuchiya, Sokichi Takagi, Yoshiaki Ikarashi: GC/MS target screening method for 176 agricultural chemicals in raw and drinking water samples. Nontarget Analysis for Environmental Risk Assessment, SETAC Focused Topic Meeting (2022.5.22-26 Durham, NC, USA).
- [E-172] **小林憲弘**, 高木総吉, 木下輝昭, 坂田脩, 仲野富美, 渡辺直人, 野村あづみ, 河相暢幸, 平岩俊也, 奥村学, 古川浩司, 粕谷智浩, 岩間紀知, 米久保淳, 高原玲華, 田中誠也, 土屋裕子, 五十嵐良明: LC/MS/MS による水道水中の有機フッ素化合物 21 種の一斉分析法の開発と妥当性評価. 第 30 回環境化学討論会 (環境化学物質 3 学会合同大会)

(2022.6.14-16 富山県富山市).

- [E-173] 渡部春奈, 山岸隆博, 小林憲弘, 阿部良子, 小塩正朗, 山本裕史: 影響指向型解析を用いた公共用水域の生態影響評価と原因化学物質の探索. 第 30 回環境化学討論会 (環境化学物質 3 学会合同大会) (2022.6.14-16 富山県富山市).
- [E-174] 前野愛, 北條幹, 坂本義光, 湯澤勝廣, 長澤明道, 生嶋清美, 山本行男, 平松恭子, 矢野範男, 大貫文, 稲葉涼太, 鈴木仁, 横田理, 高橋祐次, 小林憲弘, 菅野純, 広瀬明彦, 猪又明子, 中江大: 多層カーボンナノチューブ (MWCNT) の 2 年間間欠気管内投与によるラット発がん性試験. 第 49 回日本毒性学会学術年会 (2022.6.30-7.2 北海道札幌市).
- [E-175] Norihiko Kobayashi, Sokichi Takagi, Teruaki Kinoshita, Osamu Sakata, Fumi Nakano, Naoto Watanabe, Azumi Nomura, Nobuyuki Kawai, Toshiya Hiraiwa, Manabu Okumura, Koji Furukawa, Tomohiro Kasuya, Noritomo Iwama, Jun Yonekubo, Reika Takahara, Seiya Tanaka, Yuko Tsuchiya, Yoshiaki Ikarashi: Development and validation of an analytical method for simultaneous determination of perfluoroalkyl acids in drinking water by liquid chromatography/tandem mass spectrometry. Water and Environment Technology Conference Online 2022 (WET2022-online) (2022.7.9-10 Online).
- [E-176] 小林憲弘, 内野正, 五十嵐良明: 水系暴露濃度予測モデルによるヒト用医薬品 11 種の河川水中濃度の推計. 第 59 回全国衛生化学技術協議会年会 (2022.10.31-11.1 神奈川県川崎市).
- [E-177] 前野愛, 北條幹, 坂本義光, 湯澤勝廣, 長澤明道, 平松恭子, 大貫文, 稲葉涼太, 鈴木仁, 横田理, 高橋祐次, 小林憲弘, 広瀬明彦, 猪又明子, 中江大: 多層カーボンナノチューブ (MWCNT) の 2 年間間欠気管内投与によるラット肺腫瘍及び中皮腫の発生. 第 39 回日本毒性病理学会総会及び学術集会 (2023.1.25-26 東京都江戸川区).
- [E-178] 吉田仁, 高木総吉, 安達史恵, 小池真生子, 小林憲弘, 土屋裕子, 山口進康: LC-QTOFMS による河川水中の農薬類ターゲットスクリーニング分析法の定量精度. 第 57 回日本水環境学会年会 (2023.3.15-17 愛媛県松山市).
- [E-179] 高木総吉, 小林憲弘, 吉田仁, 土屋裕子, 村田楓果: LC-MS/MS を用いた水道原水および水道水中 PFBA の分析における注意点. 第 57 回日本水環境学会年会 (2023.3.15-17 愛媛県松山市).
- [E-180] 小林憲弘, 土屋裕子, 五十嵐良明: LC-MS/MS を用いた水道水中の陰イオン界面活性剤 (LAS) の分析法の検討. 第 57 回日本水環境学会年会 (2023.3.15-17 愛媛県松山市).
- [E-181] 小林憲弘, 土屋裕子, 五十嵐良明: 水環境におけるヒト用医薬品 111 種の存在実態の調査. 第 31 回環境化学討論会 (第 2 回環境化学物質 3 学会合同大会) (2023.5.31 徳島県徳島市).
- [E-182] Norihiko Kobayashi, Yuko Tsuchiya, Yoshiaki Ikarashi: Occurrence of 111 human pharmaceuticals in Japanese water environment. Water and Environment Technology Conference

2023 (WET2023-online) (2023.7.8 Online).

- [E-183] 小林憲弘, 土屋裕子, 五十嵐良明: 水道水中農薬の GC/MS スクリーニング分析のバリデーション試験. 環境科学会 2023 年会 (2023.9.7 兵庫県神戸市).
- [E-184] 小林憲弘, 土屋裕子, 内山奈穂子: PFOS・PFOA 分岐異性体の定量方法に関する検討. 第 26 回日本水環境学会シンポジウム (2023.9.21 大阪府吹田市).
- [E-185] 小林憲弘, 土屋裕子, 高木総吉, 五十嵐良明: 水道水中の有機フッ素化合物 (PFAS) 80 種の LC/MS/MS 一斉分析法の検討と検出実態調査. 令和 5 年度日本水道協会全国会議 (水道研究発表会) (2023.10.18-20 東京都江東区).
- [E-186] 内野正, 小林憲弘, 内山奈穂子, 五十嵐良明: 水系暴露濃度予測モデルによるヒト用医薬品の 2019 年の河川水中濃度の推計. 第 60 回全国衛生化学技術協議会年会 (2023.11.9-10 福島県福島市).
- [E-187] Norihiro Kobayashi, Yuko Tsuchiya, Sokichi Takagi, Yoshiaki Ikarashi: Development of an analytical method for simultaneous determination of PFAS in Japanese drinking water by liquid chromatography/tandem mass spectrometry (LC/MS/MS). SETAC North America 44th Annual Meeting (2023.11.14 Louisville, KY, USA).
- [E-188] Sokichi Takagi, Jin Yoshida, Norihiro Kobayashi: Detection of PFAS in water repellents in the Japanese market and estimation of their environmental impact. SETAC North America 44th Annual Meeting (2023.11.15 Louisville, KY, USA).
- [E-189] 山崎貴子, 栗田翔, 木下輝昭, 猪又明子, 野原健太, 中村李, 小林憲弘: GC/MS スクリーニング分析による河川水中農薬類の実態調査. 第 58 回日本水環境学会年会 (2024.3.6-8 福岡県福岡市).
- [E-190] 小林憲弘, 土屋裕子, 高木総吉, 五十嵐良明: GC/MS スクリーニング分析法を用いた全国の河川・水道水中農薬の実態調査. 第 58 回日本水環境学会年会 (2024.3.6-8 福岡県福岡市).
- [E-191] 高木総吉, 吉田仁, 安達史恵, 小林憲弘: LC-QTOFMS スクリーニング分析法を用いた水道原水および水道水中農薬の実態調査. 第 58 回日本水環境学会年会 (2024.3.6-8 福岡県福岡市).
- [E-192] 吉田仁, 高木総吉, 安達史恵, 小林憲弘: LC-QTOFMS を用いたスクリーニング分析におけるネガティブモードデータベースの構築. 第 58 回日本水環境学会年会 (2024.3.6-8 福岡県福岡市).
- [E-193] 高木総吉, 吉田仁, 安達史恵, 小池真生子, 赤木航, 小林憲弘: 液体クロマトグラフ-トリプル四重極質量分析計を用いたターゲットスクリーニング分析法検討. 日本薬学会第 144 年会 (2024.3.28-31 神奈川県横浜市).
- [E-194] Hiroshi Yamamoto, Yoshikazu Ninomiya, Haruna Watanabe, Takahiro Yamagishi, Norihiro

- Kobayashi**, Yoshiaki Ikarashi, Takashi Yamada, Akihiro Hirose: Ecological risk assessment of human pharmaceuticals detected in Japan and establishment of ecotoxicity database. SETAC Europe 34th Annual Meeting (2024.5.5–9 Seville, Spain).
- [E-195] **小林憲弘**, 土屋裕子, 高橋未来, 古川浩司, 安田恭子, 金井正和, 山崎貴子, 松沼孝行, 仲野富美, 緒方幸恵, 峯岸俊貴, 耳塚一正, 鶴田朋子, 杉浦愛野, 竹内謙太郎, 松澤悠, 北原健一, 中嶋京介, 高原玲華, 高木総吉, 川上和宏, 内山奈穂子: PFOS および PFOA 分岐異性体の定量誤差に関するバリデーション試験. 第 32 回環境化学討論会 (第 3 回環境化学物質 3 学会合同大会) (2024.7.2–5 広島県広島市).
- [E-196] 高木総吉, 味村真弓, 吉田俊明, 吉田仁, **小林憲弘**, 高取聡: 防水加工スプレー剤中に含まれる中性 PFAS の存在実態と環境負荷量について. 第 32 回環境化学討論会 (第 3 回環境化学物質 3 学会合同大会) (2024.7.2–5 広島県広島市).
- [E-197] 山本繁史, 丸山 (薦田) 多恵子, **小林憲弘**, 山本裕史, 山田隆志: 国内の新医薬品の環境影響評価フローにおける action limit 及び PEC 値の妥当性の評価. 第 32 回環境化学討論会 (第 3 回環境化学物質 3 学会合同大会) (2024.7.2–5 広島県広島市).
- [E-198] **Norihiro Kobayashi**, Yuko Tsuchiya, Sokichi Takagi, Nahoko Uchiyama: Occurrence of 80 Per- and Polyfluoroalkyl Substances (PFASs) in Japanese Aquatic Environment. Water and Environment Technology Conference 2024 (WET2024) (2024.7.20–21, 岡山県岡山市).
- [E-199] **小林憲弘**, 土屋裕子: 水道用資機材等の浸出液の LC/MS/MS 一斉分析法の検討. 令和 6 年度日本水道協会全国会議 (水道研究発表会) (2024.10.9–11 兵庫県神戸市).
- [E-200] **Norihiro Kobayashi**, Yuko Tsuchiya, Yuki Kosugi, Toshinari Suzuki: Occurrence of 111 Human Pharmaceuticals in River Water in Japan. SETAC North America 45th Annual Meeting (2024.10.20–24 Fort Worth, TX, USA).
- [E-201] Sokichi Takagi, Jin Yoshida, Mayumi Miura, Toshiaki Yoshida, **Norihiro Kobayashi**, Satoshi Takatori: Elucidating the environmental impact of neutral PFAS in waterproofing sprays in the Japanese market. SETAC North America 45th Annual Meeting (2024.10.20–24 Fort Worth, TX, USA).
- [E-202] 吉田仁, 高木総吉, 安達史恵, 小池真生子, 赤木航, 河相優子, 土屋裕子, **小林憲弘**: LC-QTOFMS を用いた水試料中農薬類スクリーニング分析法の定量精度の評価. 第 61 回全国衛生化学技術協議会年会 (2024.11.21–22 大阪府堺市).
- [E-203] 内野正, **小林憲弘**, 内山奈穂子: 水系暴露濃度予測モデルによるヒト用医薬品の河川水中濃度の予測精度への季節変動等の影響. 第 61 回全国衛生化学技術協議会年会 (2024.11.21–22 大阪府堺市).
- [E-204] 高木総吉, 吉田仁, 安達史恵, 小池真生子, 赤木航, 河相優子, **小林憲弘**: LC-MS/MS および LC-QTOFMS を用いた PFAS スクリーニング分析法の構築. 第 61 回全国衛生化学技術協議会年会 (2024.11.21–22 大阪府堺市).

- [E-205] 高木総吉, 吉田仁, 味村真弓, 吉田俊明, 小林憲弘, 高取聡: 防水加工スプレー剤中 PFAS の組成分析と環境負荷量の推定. 第 61 回全国衛生化学技術協議会年会 (2024.11.21-22 大阪府堺市).
- [E-206] 小林憲弘, 土屋裕子, 中村李, 野原健太, 山崎貴子, 小田智子, 栗田翔, 木下輝昭: 標準検査法と GC/MS ターゲットスクリーニング分析法による河川水中農薬の分析結果の比較. 第 59 回日本水環境学会年会 (2025.3.17-19 北海道札幌市).
- [E-207] 山本梓, 北原健一, 金子丈志, 大窪かおり, 小林憲弘: GC/MS 用全自動同定・定量データベースの水道水質中農薬における性能評価. 第 59 回日本水環境学会年会 (2025.3.17-19 北海道札幌市).
- [E-208] Shigechika Yamamoto, Taeko Maruyama-Komoda, Norihiro Kobayashi, Hiroshi Yamamoto, Takashi Yamada: Evaluating the validity of the action limit and PEC in environmental risk assessment workflow for novel pharmaceuticals in Japan. 64th Annual Meeting of the Society of Toxicology (SOT 2025) (2025.3.16-20 Orlando, FL, USA).

以上